



マルチメディア語学教育支援システム
PC@LL
ピーシーアットエルエル
Computer Assisted Language Learning

立教大学様

CALL教室 利用マニュアル

株式 内田洋行
会社 UCHIDA YOKO CO., LTD.

教卓周りの構成

【プレビューモニタ】

学習者画面を受信したりAVソースの画面確認に使用します

【コンソールモニタ】

タッチパネルモニタで手前に引っ張ることができます

【教師用PC】

【センターモニタ】

学生側のセンターモニタと同じ映像が出ます



【書画カメラ】

【有線マイク】

【赤外線マイク】

【AV主電源パネル】



【コンソールPC】

【Blu-rayデッキ】



授業運用から選ぶ

① 統合授業

▶ 親教室（池袋8501教室、新座N831教室）の授業を8502教室、N832教室で受信することができます。

② AV機器を中心に利用する授業

▶ AV機器（Blu-ray、DVD等）を利用した授業。

③ PCを利用、コンソールを使用する授業

▶ PCを使用し、かつ学生機をコンソールで制御する授業。

▶ ソフトレコーダーを使用するCALL機能を中心とした授業。

それぞれの授業の主な流れ

① 統合授業

- 1) 親教室、子教室それぞれ外部パネルのAV主電源を入れる
プロジェクタ使用の場合はプロジェクタON（スクリーン自動）
- 2) 教員PCにログインする。
- 3) 親教室にて利用したいシステムを選択する
(フルコンソール、イージーコンソール、ガイド型コンソール、AVシステム)
- 4) 子教室にて「親教室からの受信」を選択する
- 5) 親教室、子教室それぞれシステムを終了する
- 6) 教師PCをシャットダウンする
- 7) 外部パネルのAV主電源を入れる

② AV教室利用する授業

- 1) 外部パネルのAV主電源を入れる
プロジェクタ使用の場合はプロジェクタON（スクリーン自動）
- 2) AVシステムを利用する
- 3) AVシステムを終了する
- 3) 外部パネルのAV主電源を切る

③ コンソール・ソフトレコーダーを使用する授業

- 1) 外部パネルのAV主電源を入れる
プロジェクタ使用の場合はプロジェクタON（スクリーン自動）
- 2) 教師PCにログインする
- 3) コールシステムを利用する
(フルコンソール・イージーコンソール・ガイド型コンソール)
- 4) コールシステムを終了する
- 5) 教師PCをシャットダウンする
- 6) 外部パネルのAV主電源を切る

① 統合授業

《親教室の映像・音声を他教室へ配信する》

統合授業システム

親教室(池袋8501教室、新座N831教室)の授業を子教室(池袋8502教室、新座N832教室)で受信することができます。

- 1) 親教室で外部パネルのAV主電源を入れる
- 2) 教師PCの電源を入れログオンする
- 3) タッチスクリーンのシステム選択から任意のシステムを選択する
- 4) センターモニタ・プロジェクタに任意のソースを投影する
- 5) センターモニタ・プロジェクタの出力をONにする
- 6) 子教室(池袋8502教室、新座N832教室)でAV主電源をいれる
- 7) 子教室(池袋8502教室、新座N832教室)は、タッチスクリーンのシステム選択から[8501教室(N831教室)の映像を受信する]を選択する
- 8) 統合授業を終了する

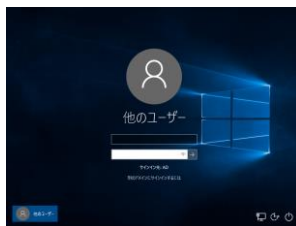
統合授業を行う <親教室側>

1) 親教室の外部パネルのAV主電源を入れる
教職員証をかざすことにより、AV主電源が入ります。
プロジェクタの電源を入れます。

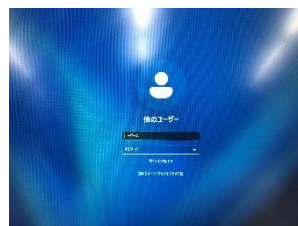


2) 教師PCの電源を入れログオンする
使用したいWindowsのバージョンを選択し、ログオンします。

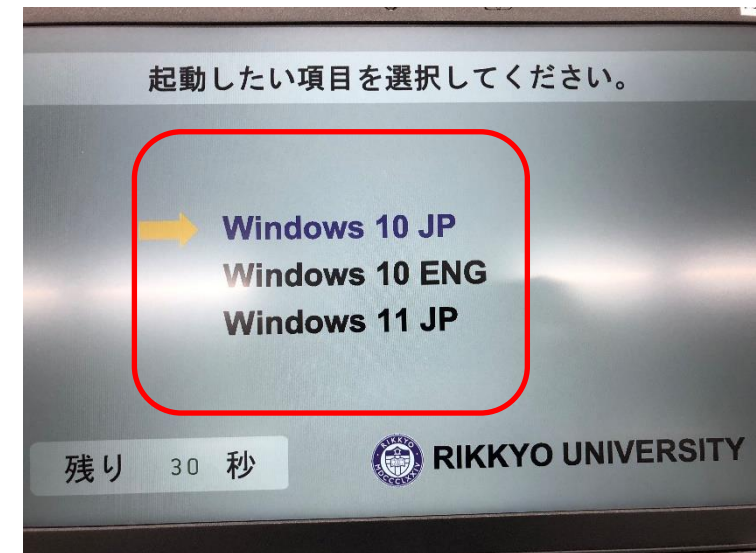
※選択せずに1分間経過すると自動的にWin10 JPNが起動します。



Win10 JPN

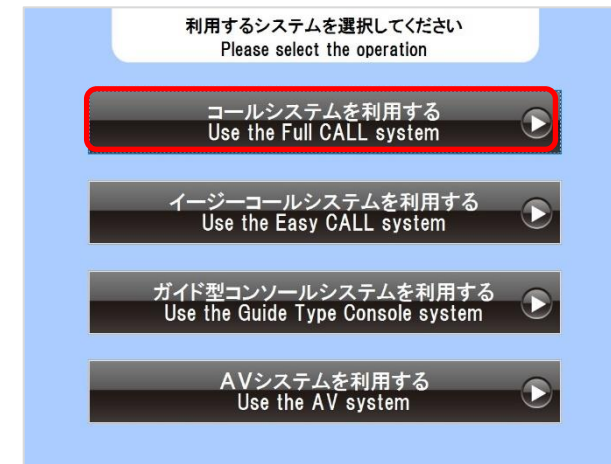


Win11 JPN



3) タッチスクリーンのシステム選択から 任意のシステムを選択する。

※どのシステムを選択頂いても構いません。

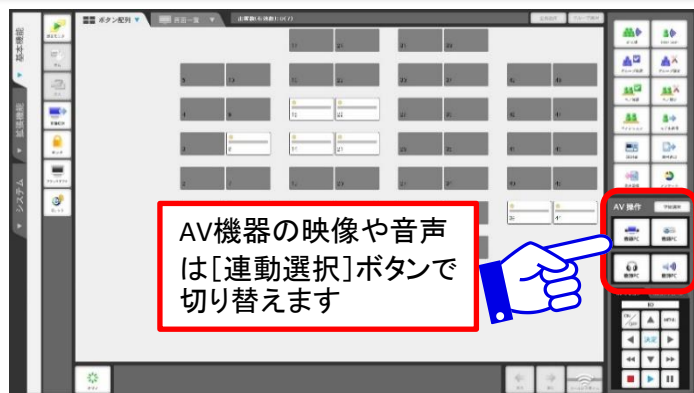


親教室でプロジェクタ・中間モニタに出力された映像、スピーカーに出力された音声、マイク音声を子教室で受信することができます。

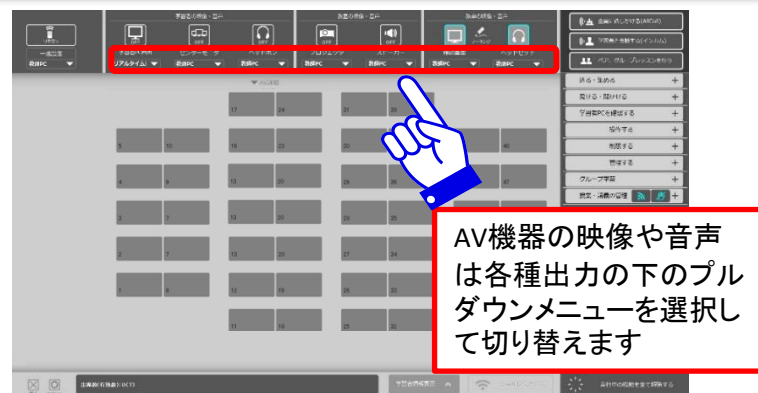
統合授業を行う <親教室側>

出力ソースの選択は各システムそれぞれ下記の箇所で行います。

▶▶ コールシステム



▶▶ ガイド型コンソールシステム



▶▶ イージーコールシステム



▶▶ AVシステム



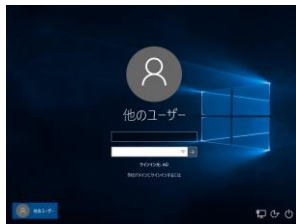
統合授業を行う <子教室側>

1) 子教室の外部パネルのAV主電源を入れる
教職員証をかざすことにより、AV主電源が入ります。
プロジェクタを利用する場合は電源を入れます。



2) 教師PCの電源を入れログオンする
OSはどのOSを選択頂いても構いません。

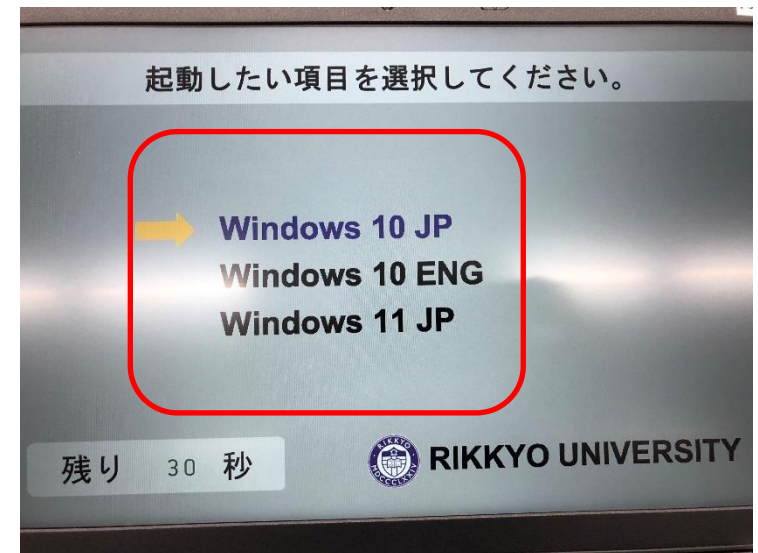
※選択せずに1分間経過すると自動的にWin10 JPNが起動します。



Win10 JPN



Win11 JPN

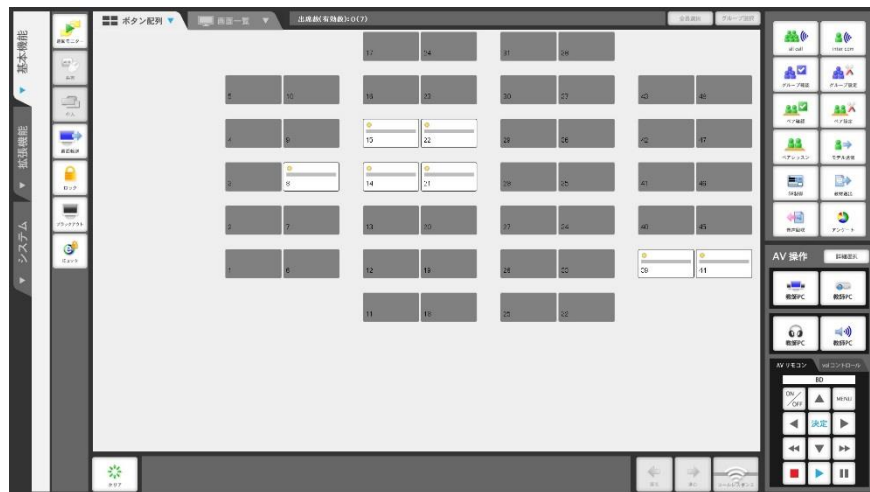


3) 親教室からの受信

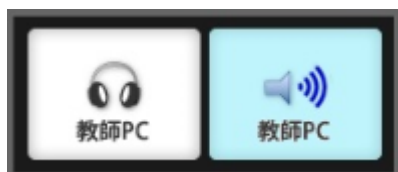
タッチスクリーンのシステム選択から

「8501(N831)教室の映像を受信する」を押します。

自動的にコールシステムが起動します。



- ◆ 受信をすると自動的に親教室で投影されているソースがセンターモニタおよびプロジェクタに映ります。



デフォルトはスピーカーが選択されています。
ヘッドセットから出力したい場合はヘッドセットボタンを押してください。

② AV機器を中心に利用する

《AV機器を利用する授業》

AV機器を使う授業を行う

1) 外部パネルのAV主電源を入れる

主電源をONにします。



◆ AV機器を使用する際は必ず主電源をONにしてください。

※マイク利用にも主電源ONは必要です。

◆ プロジェクタを使用する場合は、③の[プロジェクタ電源]ボタンを押します。
プロジェクタの電源がONになり、スクリーンが自動的に下がります。

◆ 持込PCおよびAV機器のコードは教卓左の引き出し内にあります。

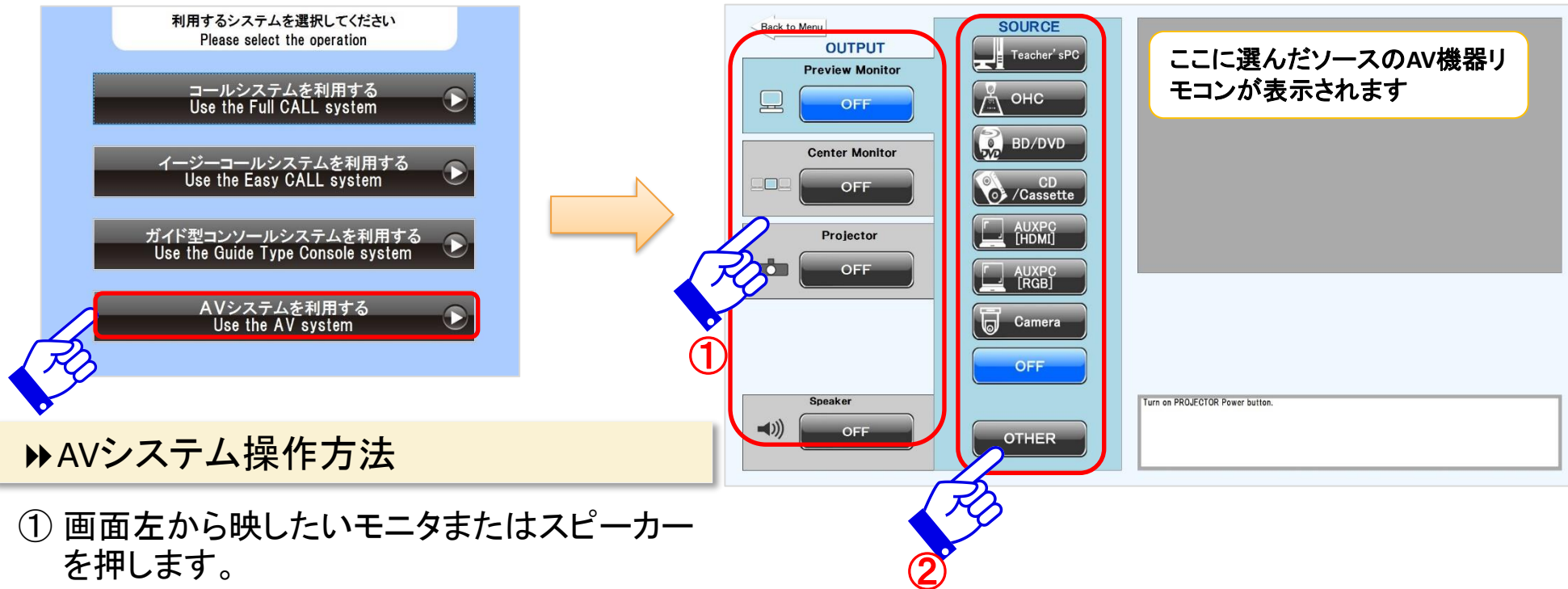
▶▶ 外部AVパネル

- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| ①ICカード受光部(電源ON) | ⑤マイクボリューム | ⑨USB接続 |
| ②主電源OFFボタン | ⑥AVボリューム | ⑩有線マイク接続 |
| ③プロジェクタ電源ボタン | ⑦HDMI接続 | ⑪WEB用USB |
| ④スクリーン昇降ボタン | ⑧RGB接続 | ⑫会議用USB |
| ⑬持込AV用IN/OUT接続 | ⑭有線LAN接続 | |

AV機器を使う授業を行う

2) AVシステムを利用する

タッチスクリーンのシステム選択画面から「AVシステムを利用する」を押します。



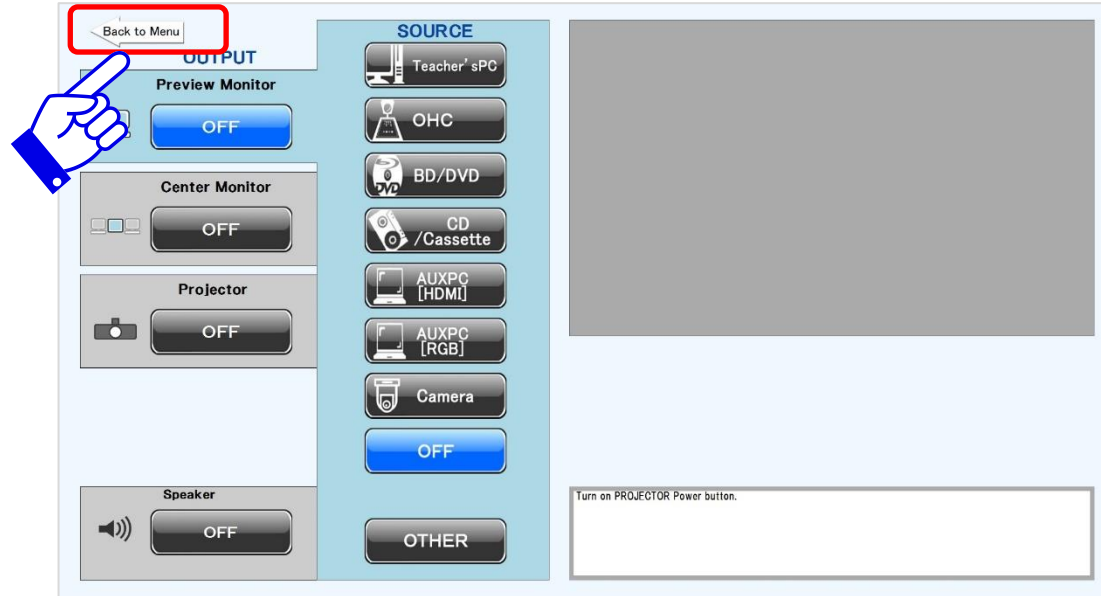
▶▶ AVシステム操作方法

- ① 画面左から映したいモニタまたはスピーカーを押します。
- ② 画面中央から映したいソースを押します。
- ③ AV機器を再生します。

※8501教室のみ画面が多少異なります

3) AVシステムを終了する

左上の「Back to Menu」を押すとシステム
選択画面に戻ります。



4) 外部パネルのAV主電源を切る

OFFボタンを押して主電源を切ります。



- ◆ 主電源のOFFボタンを押すと、自動的にプロジェクタ電源もOFFになり、スクリーンも上がります。
- ◆ AV機器の電源もOFFになるのでメディアの取り忘れに注意してください。

③ コンソール・ソフトレコーダーを利用する

- ①《PCを使用し、学生機をコンソールで制御する授業》
- ②《ソフトレコーダーを使用したCALL機能中心の授業》

1) 外部パネルのAV主電源を入れる

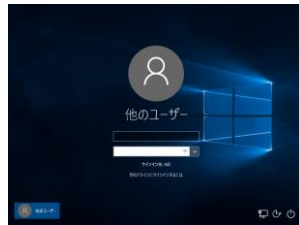
教職員証をかざすことにより、AV主電源が入ります。
プロジェクタを利用する場合はプロジェクタ
電源を入れます。



2) 教師PCの電源を入れログオンする

使用したいWindowsのバージョンを選択し、それぞれのOS上でサインインします。

※選択せずに1分間経過すると自動的にWin10 JPNが起動します。



Win10 JPN



Win11 JPN

3) コールシステムを利用する

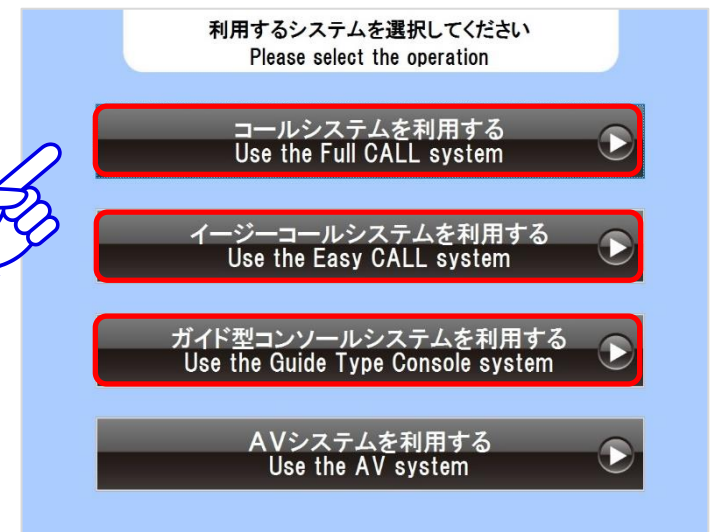
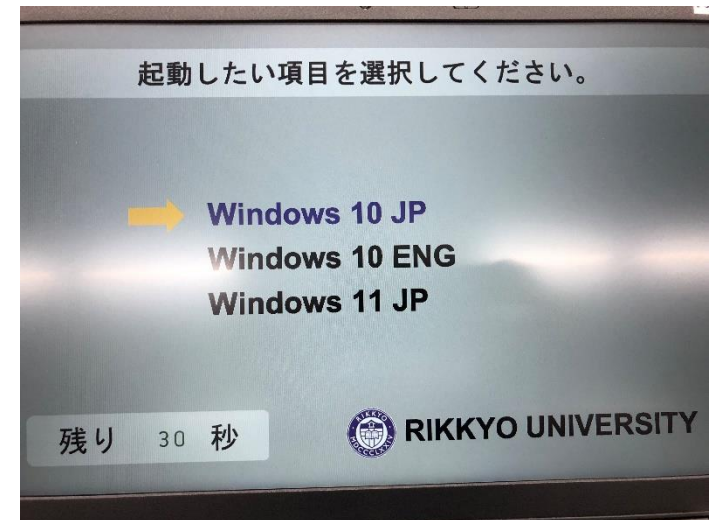
タッチスクリーンのシステム選択画面から

「**コールシステムを利用する**」 または

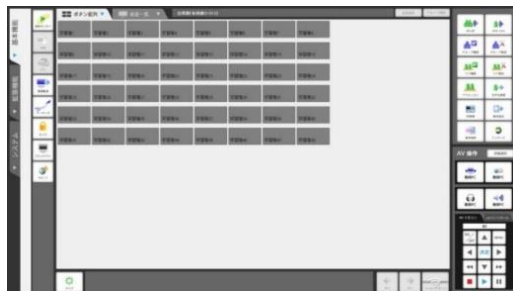
「**イージーコールシステムを利用する**」

「**ガイド式コンソールシステムを利用する**」

を押します。



コンソール・ソフトレコーダーを利用する



フルコンソール

様々なCALL機能をご利用される授業向け。
既存システムの操作感を踏襲しております。



イージーコンソール

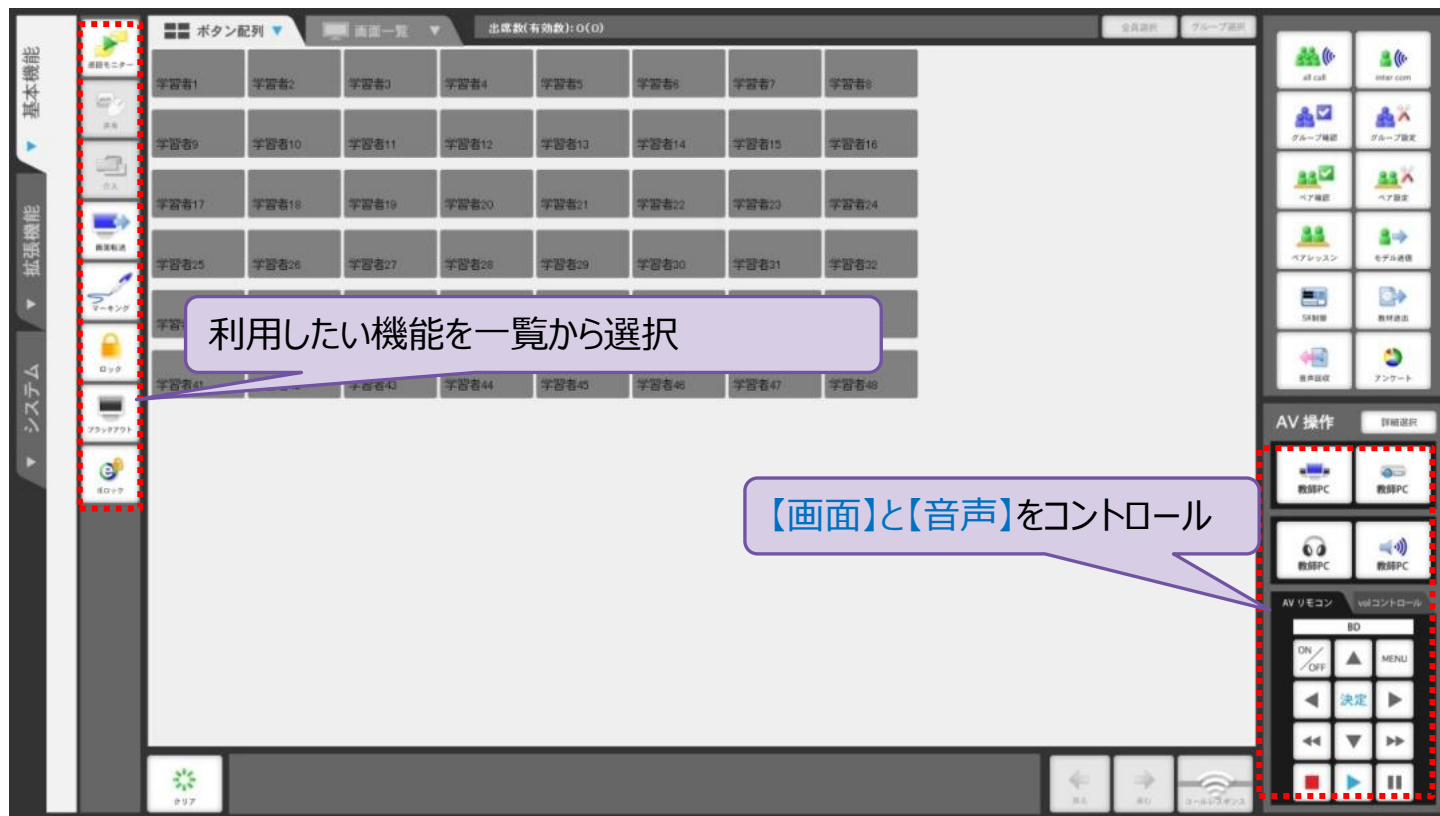
基本的な機能を中心とした簡易なコンソール画面。
大きくわかりやすいボタンで簡単操作。



ガイド型コンソール

ガイド機能がついており、システムに慣れていない方
でもわかりやすいコンソール。

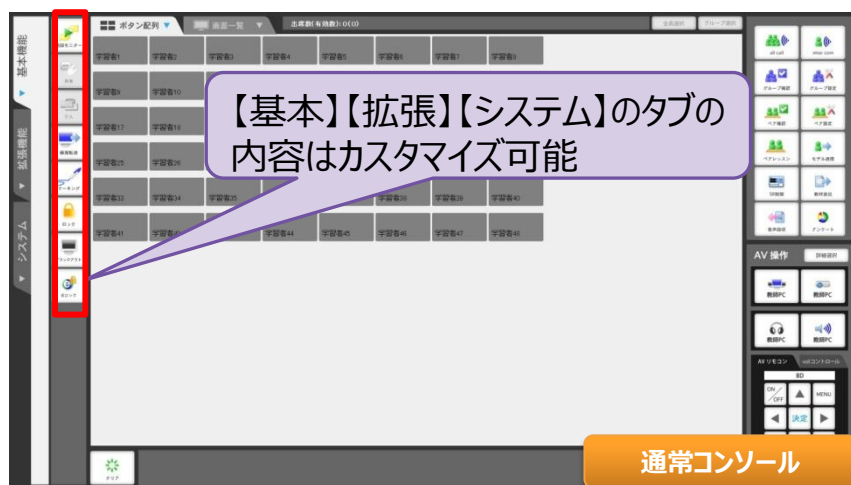
フルコンソール画面



現状と同様の操作感維持し、ワイドモニタ(解像度1920×1080)表示に対応。
インストーラ・デスクトップモードでの動作、学生PCがModern UIになっていてもモニタや画面転送も可能です。

イージーコンソール画面

基本機能を中心とした**イージーコンソール**画面。
よく使う機能にしぼり、大きくわかりやすいボタンで簡単操作

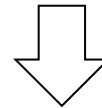


切替



基本機能を中心としたより
簡易なコンソール画面

ガイド型コンソール



機能グループ毎にまとめ、「何をやりたいか」から機能ボタンを選択する形式。
専門的な用語でなく、一般的にわかりやすい表現になっております。

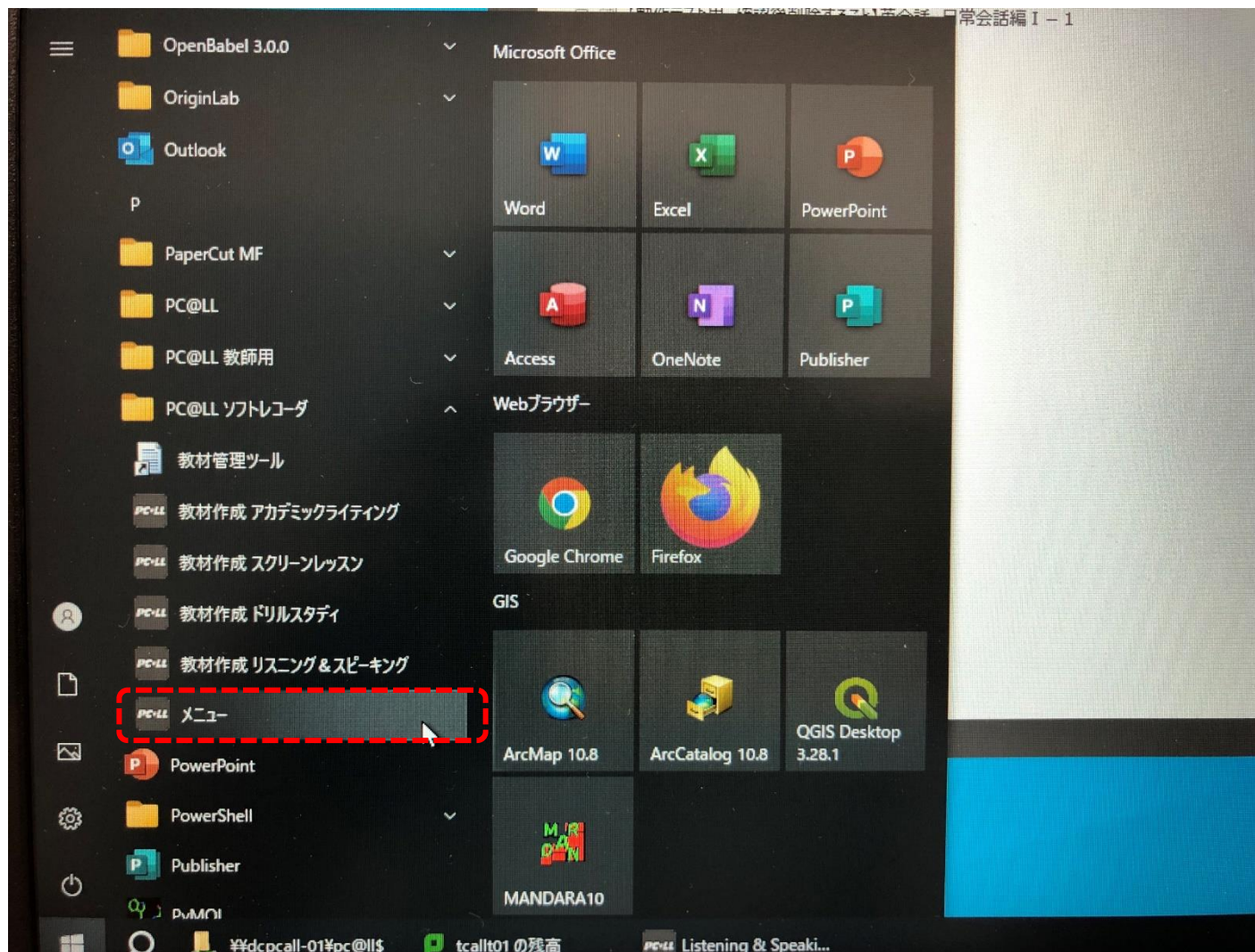
機能実行時の操作ガイド画面

各機能ボタンを押すと、次の操作を促すウィンドウが表示され
操作に迷う事なく、確実に行いたい機能を実行できます。



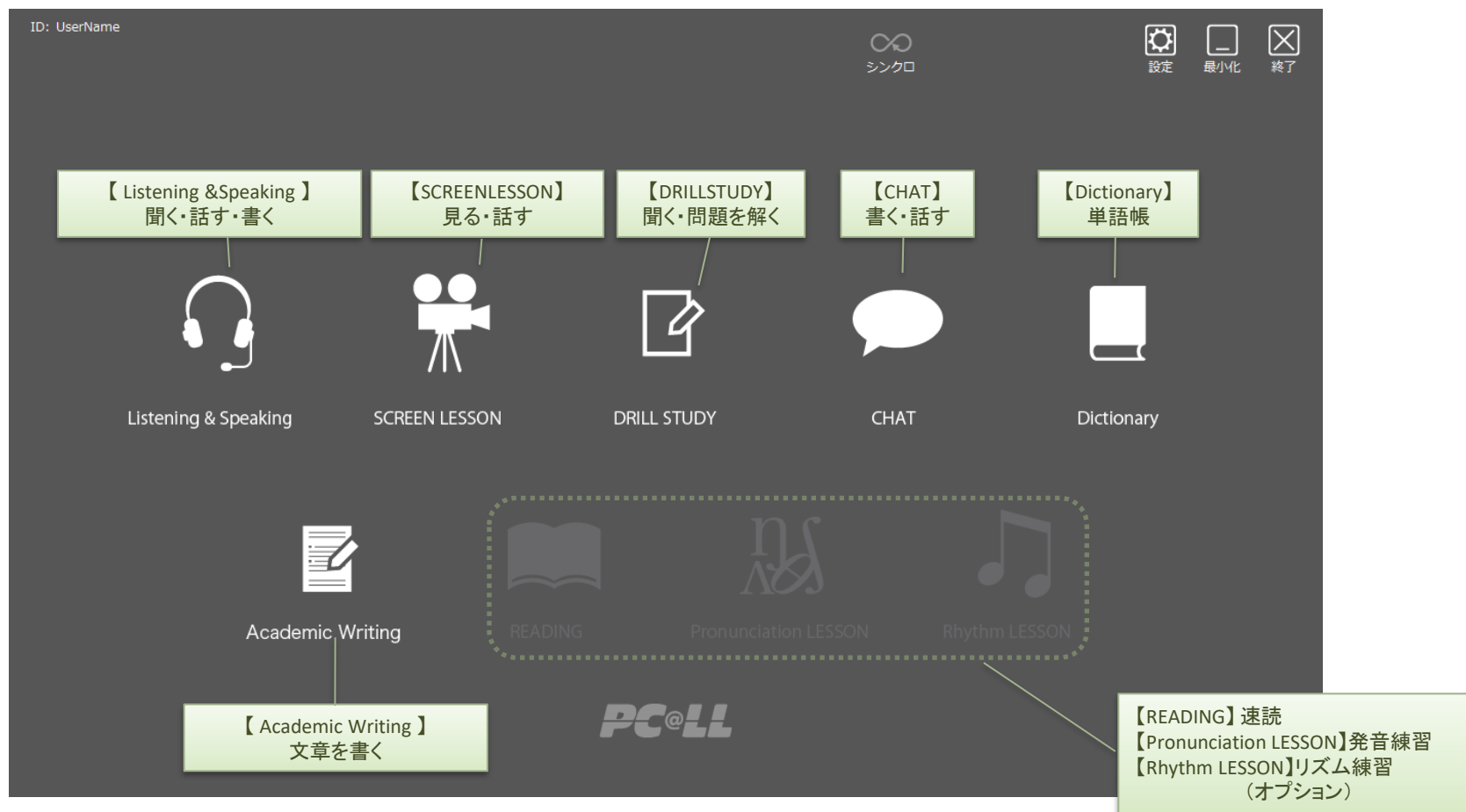
ソフトレコーダー

教員機・学生機のスタート> PC@LLソフトレコーダー> メニューをクリックするを起動します。



ソフトレコーダー

ソフトレコーダーのメニューアイコンについての説明は以下の通りです。



PC@LL フルコンソール

コンソール画面構成

【コマンドバー】

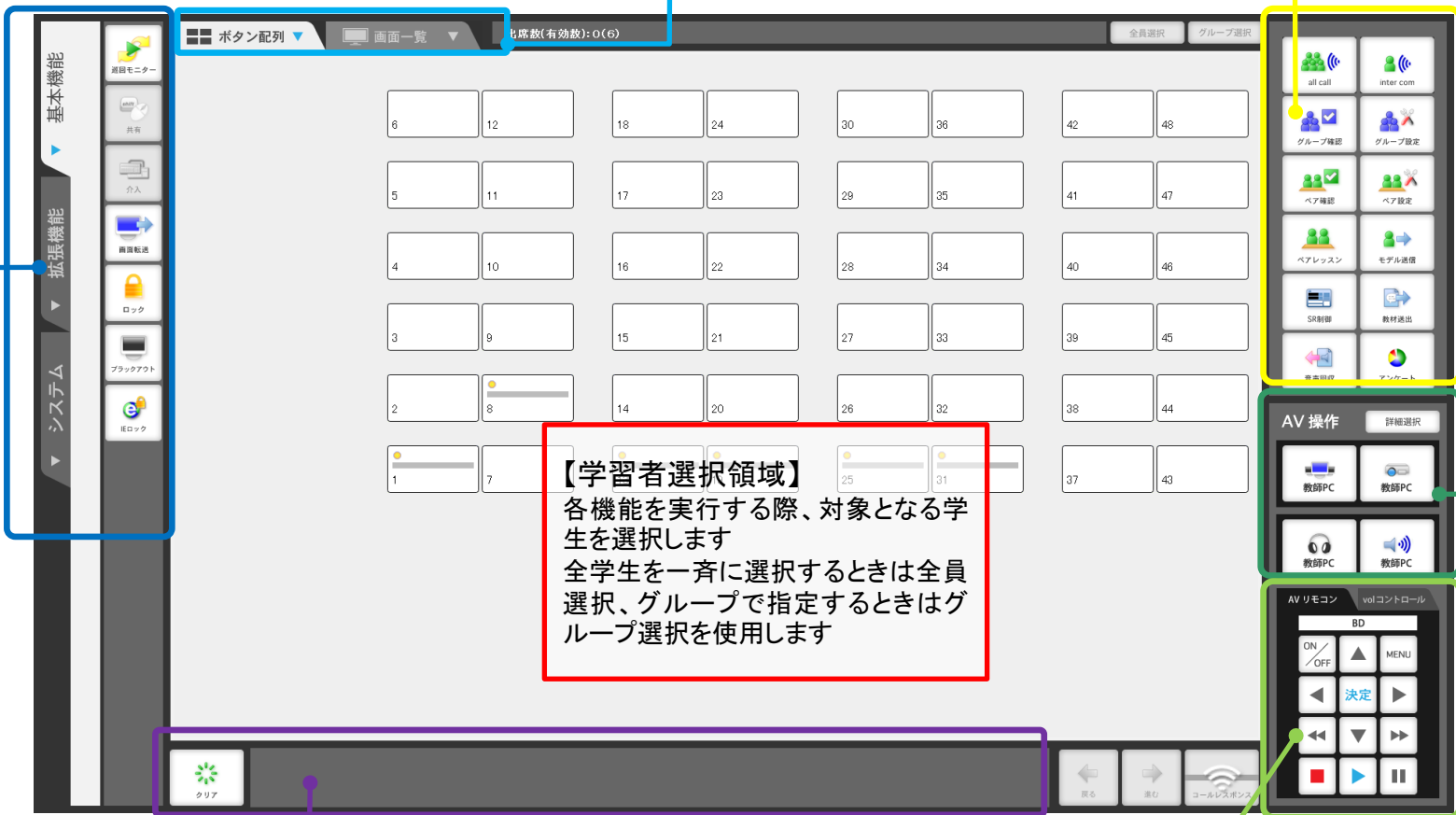
CALL授業やPCの授業を支援するための機能を選択します
機能によって表示を切替ます

【表示切替タブ】

学習者選択、表示内容の切替時に使用します

【CALL機能】

CALL授業で使う主要機能を選択します



【学習者選択領域】

各機能を実行する際、対象となる学生を選択します
全学生を一斉に選択するときは全員選択、グループで指定するときはグループ選択を使用します

【スタックエリア】

現在実行されている機能のボタンが表示されます
操作を終了するとき使用します

【AVリモコン/VOLコントロール】

AV機器の再生や音量調整などを行います

【AV操作機能】

ソースの選択、出力ON/OFFなどを切替ます

AV機器操作

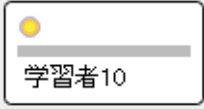
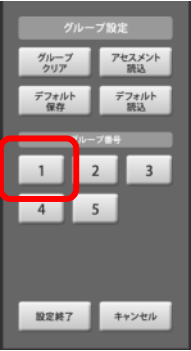
機能	操作	終了方法
教師PCの画像をプロジェクタに投影する	①プロジェクターの電源を入れておきます。 ②コンソールのAV操作パネルのソースが[教師PC]になっている事を確認します。 ③[プロジェクタ]ボタンを押します ④プロジェクターに教師PC画像が表示されます 白: 出力OFF 青: 出力ON ※音も流す場合はヘッドセット・スピーカーボタンも押してください	青くなっている[プロジェクタ]ボタンを押して解除します
書画カメラ・DVD等の画像をプロジェクターに投影する	①[詳細選択]ボタンを押します ②ソースを選択し[戻る]ボタンを押します ③[プロジェクタ]ボタンを押します ③[プロジェクタ]ボタンを押します ※音も流す場合はヘッドセット・スピーカーボタンも押してください	青くなっている[プロジェクタ]ボタンを押して解除します

AV機器操作

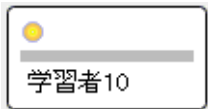
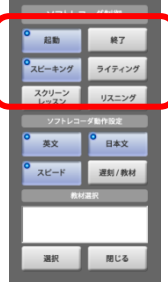
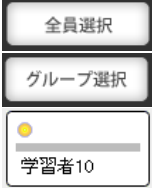
機能	操作	終了方法
教師PC・書画カメラ・DVD等の音声をスピーカーから流す	①[詳細選択]ボタンを押します ②ソースを選択し[戻る]ボタンを押します ③[スピーカー]ボタンを押します ※教師PCの音はどのソースを選択していてもスピーカーボタンを押せば出力されます	青くなっている[スピーカー]ボタンを押して解除します
教師PC・書画カメラ・DVD等の音声をヘッドセットから流す	①[詳細選択]ボタンを押します ②ソースを選択し[戻る]ボタンを押します ③[ヘッドセット]ボタンを押します	青くなっている[センターモニター]ボタンを押して解除します

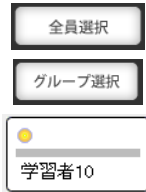
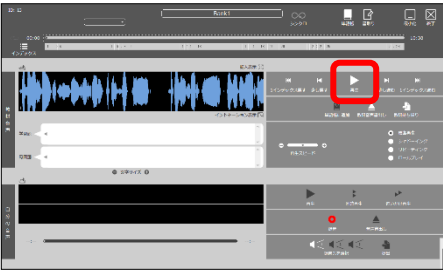
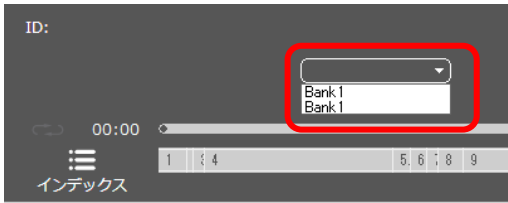
機能	操作
AVリモコンを使う	①操作したいAVソースを選択しておきます  ②[ON/OFF]ボタンを押してAV機器の電源を入れます  ③[再生]ボタンを押してAV機器を再生します 
教師ヘッドセットマイク音声のON／OFF	①[VOLコントロール]タブを押します  ②主マイクボタンを押すことでON/OFFが切り替わります 

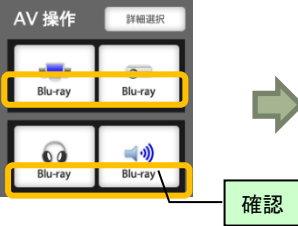
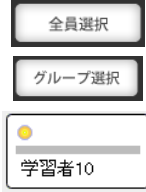
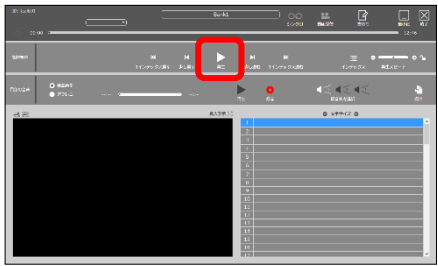
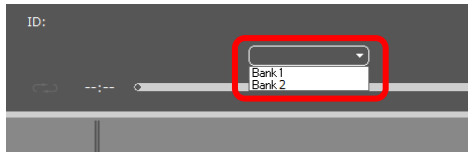
LL主要機能

機能	操作	終了方法
教師ヘッドセットマイク音声を学生ヘッドホンに送信する	①[ALL CALL]ボタンを押します  ※教師PCに流れている音声は送信されません ※教師PCに流れている音声を送信するにはヘッドホン出力ボタンを押してください	スタックエリアの [クリア]ボタン または [ALL CALL]ボタン 
学習者と個別に会話する	①[INTER COM]ボタンを押します  ➡ ②任意の学習者ボタンを押します  ※別の任意の学習者ボタンを押すと次の学習者と会話することができます	スタックエリアの [クリア]ボタン または [INTER COM]ボタン 
学習者をグループに分ける	①[グループ設定]ボタンを押します  ➡ ② グループ番号を押して登録したい学習者を押します  ➡ ③設定終了ボタン押します  ※[グループ確認]ボタンを押すとグループの確認ができます	

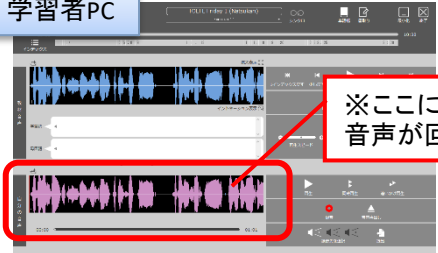
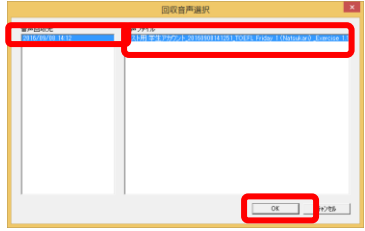
LL主要機能

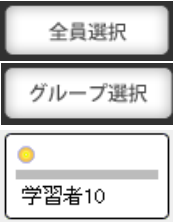
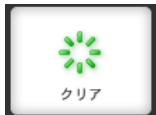
機能	操作	終了方法
学習者同士ヘッドフォンを使って会話する (ペアレッスン)	①[ペアレッスン]ボタンを押します  ※ペアの組み合わせはペア設定で変更することができます	スタックエリアの [クリア]ボタン または [ペアレッスン]ボタン 
学習者の画面を他の学習者に送信する	① [モデル送信]ボタンを押します  →  ②送信元になる任意の学習者ボタンを押します ③選んだ学習者画面とマイク音声が入る全員に送信されます ※学習者の音声と一緒に教師のヘッドフォンマイクの音声もMIXされます	スタックエリアの [クリア]ボタン または [モデル送信]ボタン 
学習者のソフトレコーダを一斉に起動する	①[SR制御]ボタンを押します  →  ②起動するメニューを選択します →  ③学習者を選択します ※教師PCでは起動しないため、学習者と同じ画面を出す場合は自分で操作してください	

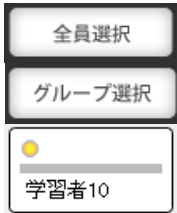
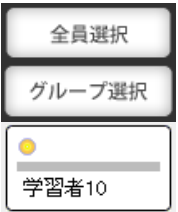
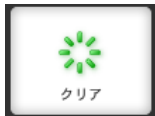
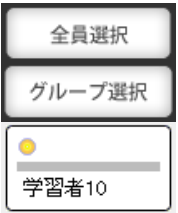
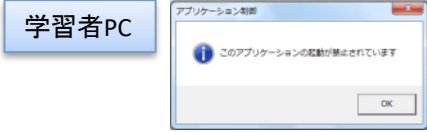
機能	操作
学習者にCDやカセット、ビデオなどの音声を教材として送信する	①AVソースを選択し、事前には送信したい部分まで頭出しを行っておきます  ②[教材送出]ボタンを押します  ③[音声教材]ボタンが選ばれていることを確認します 
	④送信したい学習者を選択します  ※選ばれた学習者はロックされます ⑤10秒カウントダウン後、[録音]ボタンを押します  ⑥AVリモコンで教材を再生し、終わったら停止します  ⑦[停止]ボタンを押します  ※BANK 番号を変更して再度[録音]ボタンを押すと続けて送出可能です 
	⑧[録音終了]ボタンを押します  ⑨学習者および教師PCで音声を再生したり繰り返し聴くことができます  ※複数の音声を送出した場合は、画面左上の【JUKEBOX】から番号を選択します 

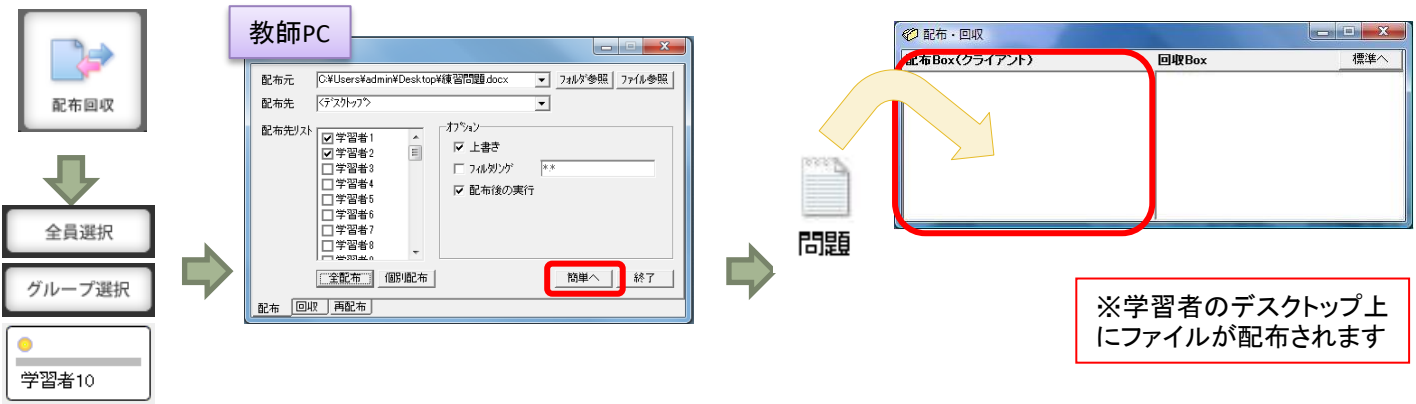
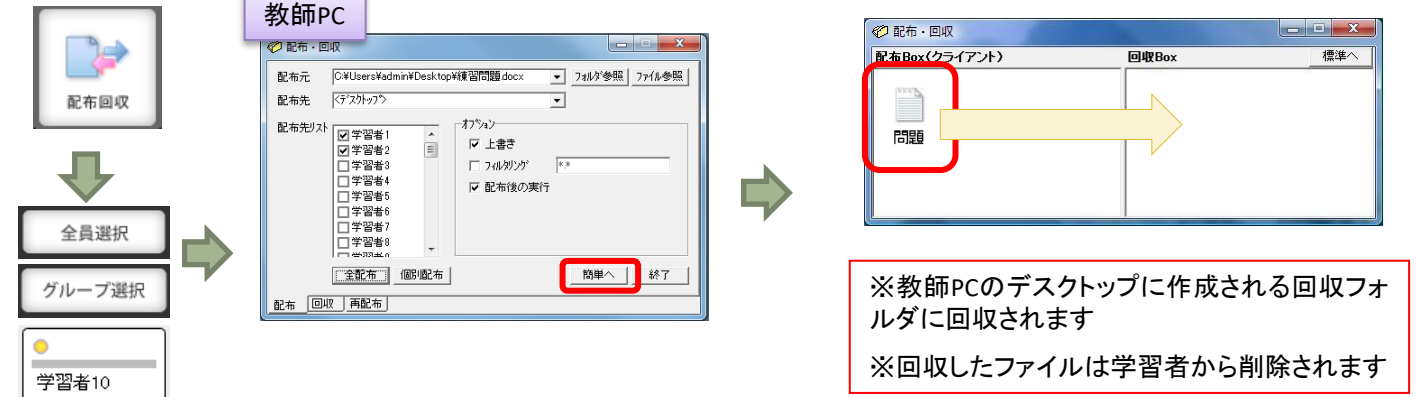
機能	操作
学習者にビデオやDVDなどの映像を教材として送信する (映像オプションがある場合)	①AVソースを選択し、事前には送信したい部分まで頭出しを行っておきます  ②[教材送出]ボタンを押します  ③[動画教材]ボタンを押します 
	④送信したい学習者を選択します  ※選ばれた学習者はロックされます ⑤10秒カウントダウン後、[録音]ボタンを押します  ⑥AVリモコンで教材を再生し、終わったら停止します  ⑦[停止]ボタンを押します  ※BANK 番号を変更して再度[録音]ボタンを押すと続けて送出可能です 
	⑧[録音終了]ボタンを押します  ⑨学習者および教師PCで映像を再生したり繰り返し見ることができます  ※複数の動画を送出した場合は、【JUKEBOX】から番号を選択します 

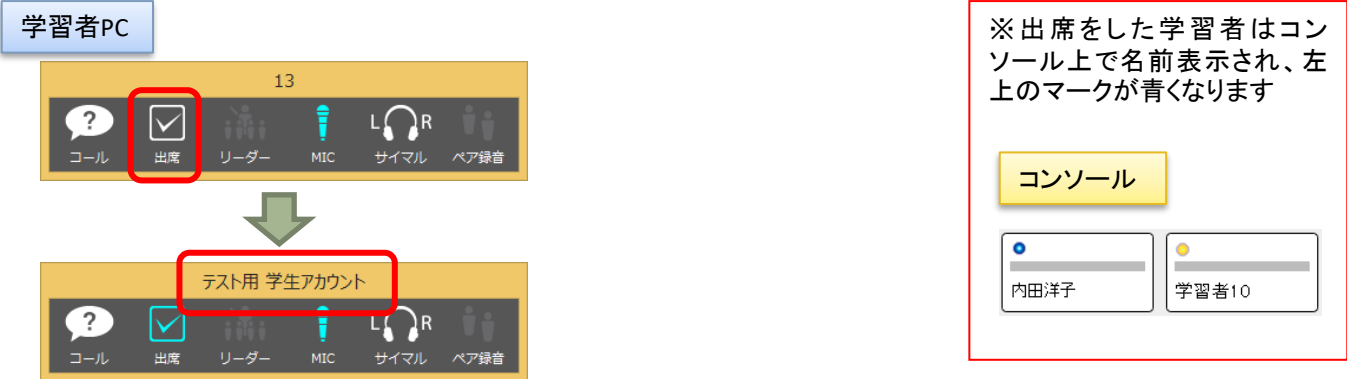
LL主要機能

機能	操作
学習者が録音した音声を一斉回収する	①学習者が自分の音声を録音し、回収する音声を表示させます 学習者PC  ②[音声回収]ボタンを押します  ③サーバーの「音声回収」フォルダに音声が集められます ※回収は全員対象です ※学習者が録音中や一時停止中、録音をしていない場合は、その学習者の音声は回収できません
回収した音声をその場で聞く	①教師PCでListening & Speakingを起動し画面上部の[回収音声]ボタンを押します  ②回収した「年月日時間」を選択した後、音声ファイル一覧から学習者を選択し、[OK]ボタンを押します 
アンケートをとる	① [アンケート]ボタンを押します  ②教師PCに表示されたアンケート画面に問題と選択肢を入力し、開始ボタンをクリックします 教師PC  ③学習者が回答後、締切ボタンをクリックします

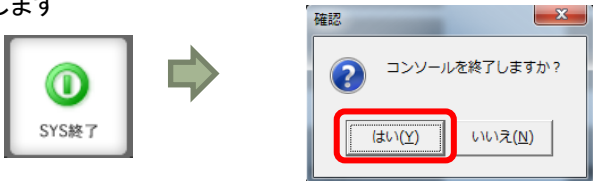
機能	操作	終了方法
学習者の画面を順番に見る	①【基本機能】の[巡回モニター]ボタンを押します  ②学習者を選択します  ③プレビューモニタに学習者の画面が表示され、教師ヘッドフォンに学習者の音声聞こえます ※巡回を一時止める場合は再度巡回モニターボタンを押します	スタックエリアの[クリア]ボタン または [巡回モニター]ボタン 
学習者を一覧表示する	①【表示切替】の[画面一覧]タブを押します  ② 一覧が表示されます  ※一覧の学習者画面をダブルクリックするとプレビューモニターに学習者画面が表示されます	[ボタン配列]タブを押す 
学習者を教師から操作する	①任意の学習者をプレビューモニターに表示し、【基本機能】の[共有]または[介入]ボタンをクリックします  ② 教師PCのマウスで学習者のキーボード・マウスを操作します  ※介入では学習者は操作できなくなり教師の操作のみになります ※共有では学習者も操作することができます	スタックエリアの[クリア]ボタン または [共有]・[介入]ボタン 

機能ブラウザ	操作			終了方法
学習者の画面に教師PC画面を送信する	①【基本機能】の[画面転送]ボタンを押します 	②パネルから送信したいソースを選択します  ※ 静止画は教師PCの画面を静止画の状態で送信できます	③学習者を選択します 	スタックエリアの[クリア]ボタン または [画面転送]ボタン 
学習者PCのキーボード・マウスを使用不可にする	①【基本機能】の[ロック]ボタンを押します 	②学習者を選択します 	③表示されていたまま、学習者のキーボード・マウスがロックされます	スタックエリアの[クリア]ボタン または [ロック]ボタン 
学習者PCをブラック画面にし、キーボード・マウスを使用不可にする	①【基本機能】の[ブラックアウト]ボタンを押します 	② 学習者を選択します 	③学習者の画面が黒くなりキーボード・マウスがロックされます 	スタックエリアの[クリア]ボタン または [ブラックアウト]ボタン 
学習者PCのInternet Explorerの起動を禁止にする	①【基本機能】の[IEロック]ボタンを押します 	② 学習者PCでブラウザが起動できなくなります  ※ [クリア]では解除になりません		スタックエリアの[IEロック]ボタン 

機能	操作
学習者にファイルを配布する 	①【拡張機能】の[配布回収]ボタンを押し、学習者を選択します ②教師PCに「配布・回収」ウィンドウが表示されます ③「簡単へ」ボタンをクリックします ④配布したいファイルを左の配布Boxにドラッグ＆ドロップします ※学習者のデスクトップ上にファイルが配布されます
配布したファイルを学習者から回収する 	①【拡張機能】の[配布回収]ボタンを押し、学習者を選択します ②教師PCに「配布・回収」ウィンドウが表示されます ③「簡単へ」ボタンをクリックします ④配布Boxにある回収したいファイルを右の回収Boxへドラッグ＆ドロップします ※教師PCのデスクトップに作成される回収フォルダに回収されます ※回収したファイルは学習者から削除されます

機能	操作
学習者の出席を取る	①学習者PC起動後、学習者表示パネルの[出席]ボタンをクリックします ②[出席]ボタンが緑になり、表示パネル上部の表示が、[氏名]に変更になります。 ③確認して[はい]ボタンをクリックします ※出席をした学習者はコンソール上で名前表示され、左上のマークが青くなります ※コンソールで出席が許可されていないと出席ボタンはクリックできません 
出席履歴を確認する	①【システム】の[出席]ボタンを押します ②[参照]ボタンを押します ③教師PCで日付と時間を指定して[表示/更新]ボタンをクリックします 

コマンダー機能

機能	操作	終了方法
グループごとに共同作業をする	①【拡張機能】の[グループ参照]ボタンを押します ②学習者PCの学習者パネルの[リーダー]ボタンをクリックします ③グループになっているPCにリーダーの画面が転送され、マウス・キーボード・マイクが共有になります 	スタックエリアの[クリア]ボタン または [グループ参照]ボタン 
学習者PCの電源ON・OFFを操作する	①【システム】の[電源制御]ボタンを押します ②学習者PCに行いたい操作ボタンを押します ③学習者を選択します 	
コンソールを終了する	①【システム】の[SYS終了]ボタンを押します ②確認メッセージで[はい]ボタンを押します 	※コンソールPCを終了するには通常のWindows終了を行ってください

PC@LL ガイド型コンソール

コンソール画面構成

The screenshot shows a console interface for a classroom management system. It features a top bar with AV device controls, a central grid of student buttons, and a right sidebar with call and management functions. Numbered callouts identify the following areas:

- 1 【AV機器 操作エリア】**: Top bar containing controls for AV devices (remote, projector, speakers, etc.) and dropdown menus for device selection.
- 2 【CALL機能操作エリア】**: Right sidebar containing call functions like 'AllCall', 'Incalls', and 'Pair/Group Lesson'.
- 3 【授業支援機能エリア】**: Right sidebar containing management functions like 'Send/Collect', 'Show/Hide', 'Check PC', 'Operate', 'Restrict', 'Manage', 'Group Learning', and 'Manage Lecture/Lesson'.
- 4 【学習者座席ボタンエリア】**: Central grid of student buttons, each with a name (e.g., Student1, Student11, etc.) and a status indicator.
- 5 【終了・設定】**: Bottom left corner containing 'End' and 'Settings' icons.
- 6 【出席・講義授業名表示】**: Bottom left area showing '出席数(有効数): 0'.
- 7 【学習者情報表示ボタン】**: Bottom center button labeled '学習者情報表示'.
- 8 【コールレスポンス】**: Bottom right area containing a 'コールレスポンス' button.
- 9 【実行機能解除ボタン】**: Bottom right corner containing a button to '解除する' (cancel) all active functions.

1 AV機器操作エリア

2 CALL機能操作エリア

3 授業支援エリア

4 学習者座席ボタンエリア

5 終了・設定エリア

6 出席・講義授業名エリア

7 学習者情報表示ボタン

8 コールレスポンス

9 実行機能解除ボタン

1 AV機器操作エリア



■【AV機器操作エリア】基本操作方法

①機能未実行のアイコンをクリックするとブルーになります。



②もう一度アイコンをクリックするとOFFになります。

③映像ソースを変更したい場合は、アイコン下のソース選択ボックス内のマークをクリックします。



④プルダウンメニュー表示後、ソースをクリックするとソースが変更し、選択ボックス内のソースも自動的に変更されます。

Point!

※全てのソースを一括で変更したい場合は【一括設定】をクリックし、上記と同様にソース選択します。



1 リモコン・一括設定

リモコン		接続されているAV機器のリモートコントローラーが起動します。※対応できない機種もあります
一括設定		センターモニター・学習者ヘッドホン・プロジェクタ・スピーカー・確認画面・教員用ヘッドセットに出力されるソースを一括で切替ます

3 教室の映像・音声

確認画面		教員用のプレビューモニターに映し出したいものを選択します。※このアイコンは常時ON状態です。OFFにできません。
ヘッドセット		教員用ヘッドホンに送られる音声を選択します。※このアイコンは常時ON状態です。OFFにできません。

2 学習者の映像・音声

学習者PC画面		学習者PCへ教員PCの画像を静止画あるいはリアルタイム画像をPCへ送信します
センターモニター		学習者のセンターモニターへ映像を送信します
ヘッドホン		学習者のヘッドホンへ選択した機器の音声を送信します

4 教卓の映像・音声

プロジェクタ		教室内的プロジェクターへ選択した機器の映像を投影します
スピーカー		教室内的外部スピーカーへ選択した機器の音声を送ります

【コンソール全体図】

【エリア拡大図】

3【CALL機能エリア】

1 全員に話しかける(AllCall)

2 学習者と会話する(インカム)

3 ペア、グループレッスンをを行う

4【授業支援エリア】

1 送る・集める +

2 見せる・聞かせる +

3 学習者PCを確認する +

4 操作する +

5 制限する +

6 管理する +

7 グループ学習 +

8 授業・講義の管理 +

2 CALL機能操作エリア

CALL機能操作エリア

1 全員に話しかける(AllCall)

2 学習者と会話する(インカム)

3 ペア、グループレッスンを開始

1 全員に話しかける(AllCall)

2 学習者と会話する(インカム)

3 ペア、グループレッスンを開始

1 全員に話しかける(AllCall)

2 学習者と会話する(インカム)

3 ペア、グループレッスンを開始

3 授業支援機能エリア

授業支援機能操作エリア

1 送る・集める +

2 見せる・聞かせる +

3 学習者PCを確認する +

4 操作する +

1 送る・集める +

2 見せる・聞かせる +

3 学習者PCを確認する +

4 操作する +

1 送る・集める +

2 見せる・聞かせる +

3 学習者PCを確認する +

4 操作する +

授業支援機能操作エリア

5 制限する +

6 管理する +

7 グループ学習 +

8 授業・講義の管理 +

5 制限する +

6 管理する +

7 グループ学習 +

8 授業・講義の管理 +

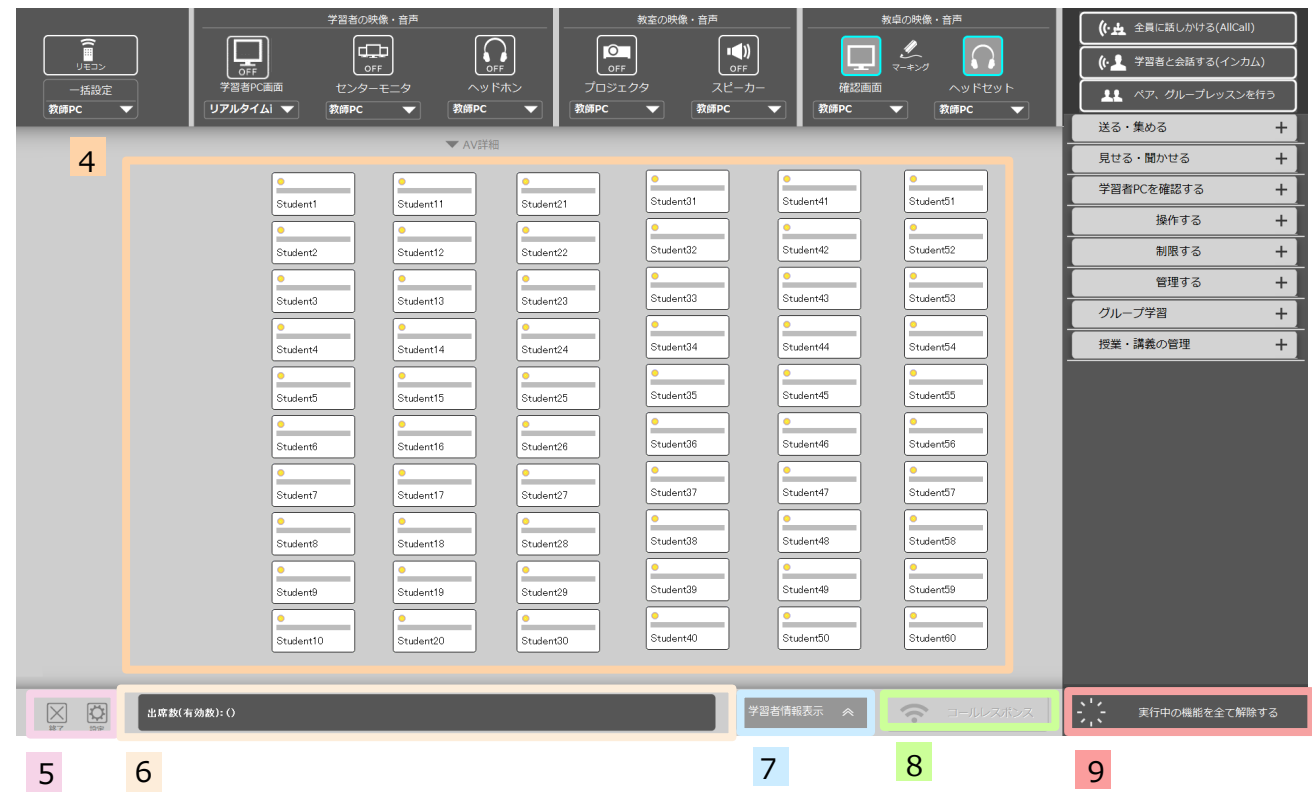
5 制限する +

6 管理する +

7 グループ学習 +

8 授業・講義の管理 +

【コンソール全体図】



4 学習者座席エリア



【モニタリング】や【モデル送信】
【ブラックアウト】等の任意の学
習者を指定する場合、座席
ボタンをタッチします

5 終了・設定エリア



PC@LLコンソールシステムを終了します

【一般設定】(巡回間隔時間の設定等)【運用
切替】(英語モード等) の設定変更ができます

6 出席・講義授業名表示エリア



【出席数表示】【講義授業名
表示】エリアです

7 学習者情報表示ボタン



【学習者PC】の画面を一覧で
表示します

8 コールレスポンスボタン



【コールボタン】を押した学習
者とヘッドホンを通じて会話し
ます

9 実行機能解除ボタン



実行している機能を全て解除
します

PC@LLの基本的な使い方 基本的な操作方法について①

■ PC@LLコンソールシステムは3ステップで簡単操作できます

Step 1

『何をしたいか（機能）』

Step 2

メッセージに従って操作
(ナビウインドウから対象等を選択)

Step 3

実行機能解除ボタンで**クリア**する
もしくは、
実行中の機能ボタンを押して解除する

■ 例えば……

学生全員のPCをブラックアウトしたい

コンソール画面

全学生PC画面をブラックアウト

3【授業支援機能】

Step 1 どの機能を使いたいのか

【学生のPCをブラックアウトしたい】

学習者PCを制限する

タッチ

学習者のモニタをブラックアウトする

Step 2 誰に？

【学生全員に】
※メッセージに従い、対象者を選択

誰を対象にしますか？

個別 ● グループ ●

全員

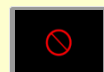
左の座席表から制限する座席を
選んで下さい。

閉じる 実行する

タッチ

実行する

全学生PCのモニタがブラックアウトします



タッチ

Step 3 機能を解除したい

実行中の機能を全て解除する

学習者のモニタをブラックアウトする

タッチ

PC@LLコンソール

Step1. 何を？

【学習者PCを制限する】

【学習者のモニタをブラックアウトする】

Step2 誰に？

【全員】をチェック

誰を対象にしますか？

個別 ● グループ ●

全員

左の座席表から制限する座席を
選んで下さい。

閉じる 実行する

3【授業支援機能】

学習者PCを制限する

学習者のモニタをブラックアウトする

誰を対象にしますか？

個別 ● グループ ●

全員

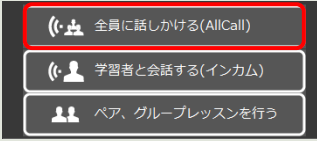
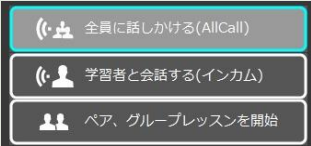
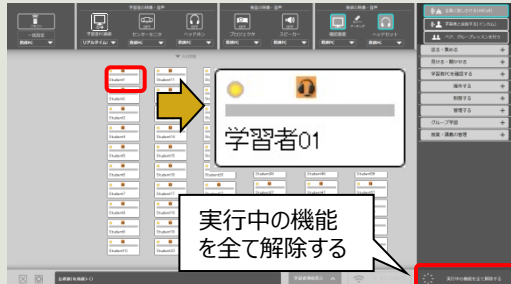
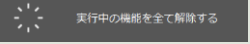
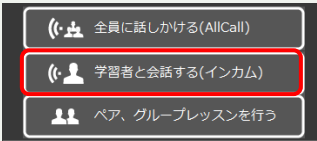
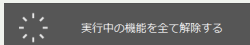
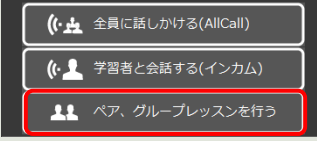
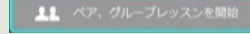
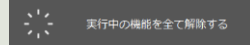
左の座席表から制限する座席を
選んで下さい。

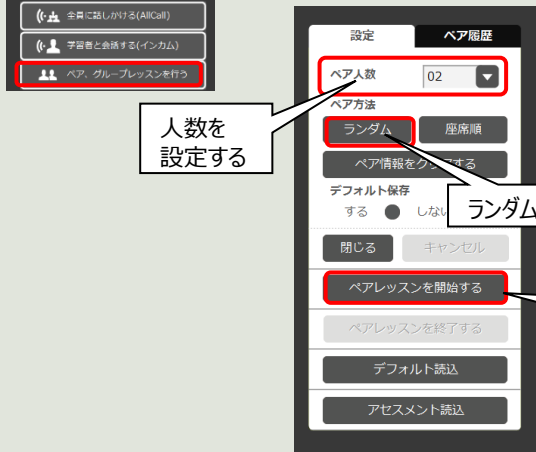
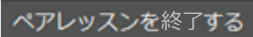
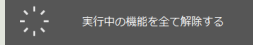
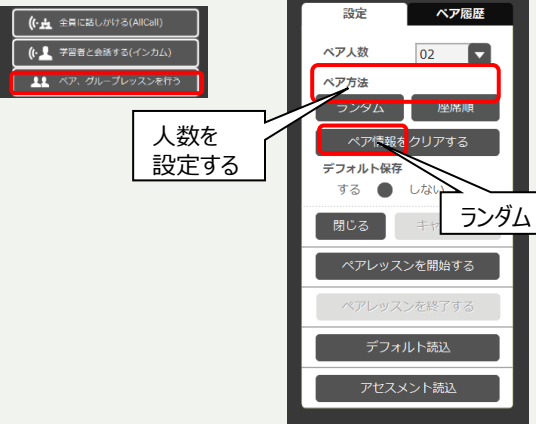
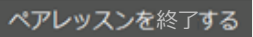
閉じる 実行する

授業・講義の管理

実行中の機能を全て解除する

Step3. 実行中の機能を解除する

機能	操作		終了方法
教員が全学習者に対し、話をする(AllCall) 	①【全員に話しかける】(Allcall) をクリック 	②ボタンが青色に変わり（機能実行中が青色）学習者座席ボタンにアイコンが表示されます  	【全員に話しかける（AllCall）】ボタンか、【実行中の機能を全て解除する】を押す。  
教員が学習者と個別に会話する（インカム）	①【学習者と会話する】（インカム）をクリック 	②ナビウインドウが表示されます。会話したい任意の学習者の座席ボタンを押す。  ※学習者を切り替えたい場合は、そのまま次の任意の学習者の座席ボタンを押します。 	【学習者と会話する（インカム）】ボタンか、【実行中の機能を全て解除する】を押す。  
学習者同士ヘッドフォンを使って会話する（ペアレッスン）	①【ペア・グループレッスンを】行う】をクリック 	②ナビウインドウが表示されます。ペア設定が初期値で設定されている場合、その設定内容が表示されます。その内容でペアレッスンを開始する時は【ペアレッスンを開始する】を押します。ペアレッスンが開始されます。  ペアレッスン開始する 	【ペア・グループレッスンを終了する】ボタンか、【実行中の機能を全て解除する】を押す。  

機能	操作	終了方法
ペアレッスンの相手をランダムに変更したい 	①【ペア・グループレッスンを行う】をクリック ②ナビウインドウが表示されます。まず、▼マークを押し、プルダウンメニューから【ペア人数】を目的の人数に設定します。（※2人～10人） ③ペアの設定方法を選択します。 ④【ペアレッスンを開始する】を押します。  人数を設定する ランダムで設定 ランダム ランダムで設定 コンピュータによりランダムにペアを組ませたい時は【ランダム】を押します。 ペアレッスンを開始する ペアレッスンを開始する	【ペアレッスンを終了する】を押すか、【実行中の機能を全て解除する】を押す。  
任意の学習者を選択して、ペア・グループを組みたい	①【ペア・グループレッスンを行う】をクリック ②ナビウインドウが表示されます。まず、▼マークを押し、プルダウンメニューから【ペア人数】を目的の人数に設定します。（※2人～10人） ③ペアの設定方法を選択します。 ④【ペアレッスンを開始する】を押します。  人数を設定する ランダム 任意で設定 ランダムで設定 手動で任意のペアを組ませたい場合はコンソールの【学習者座席ボタン】を直接押してペアを選びます。 （※ペア人数を2人にした場合、座席ボタンを二つ押した時点でペアが自動的に確定します。順次ボタンを押してペアを設定していきます） 【ペアを確定には座席をタッチ】  このペア人数が確定 ペアレッスンを開始する	【ペアレッスンを終了する】を押すか、【実行中の機能を全て解除する】を押す。  

機能

ペア・グループレッスンしている学習者に教員も参加する



操作

①【ペア・グループレッスンを行う】をクリック

②ナビウインドウが表示されます。
▼マークを押し、プルダウンメニューから【ペア人数】を目的の人数に設定します。(※2人～10人)

③ペアの設定方法を選択し、ペアあるいはグループを組みます

④【ペアレッスンを開始する】を押します。



ランダムで設定

任意で設定

ペアレッスンを開始する

(※ペア・グループの設定方法は【CALL機能】③を参照して下さい。)

終了方法

【ペア・グループレッスンを終了する】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。

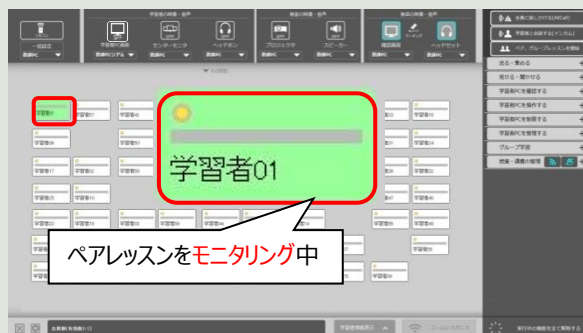
ペアレッスンを終了する

実行中の機能を全て解除する

⑤【ペアレッスン中】に任意の学習者座席ボタンを押すと、そのペア（グループ）のペアレッスン中のモニタリングを開始し、会話を聞くことができる状態になります。

⑥【CALL機能】の【学習者と会話する】を押し、任意の学習者座席ボタンを押すと、そのペア（グループ）に対しペアレッスン中に教員も会話に参加することができます。

(※ペア・グループの設定方法は【CALL機能】③を参照して下さい。)



機能

学習者に音声教材を教材として送信する

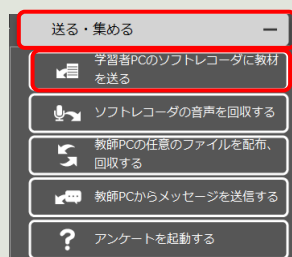


操作

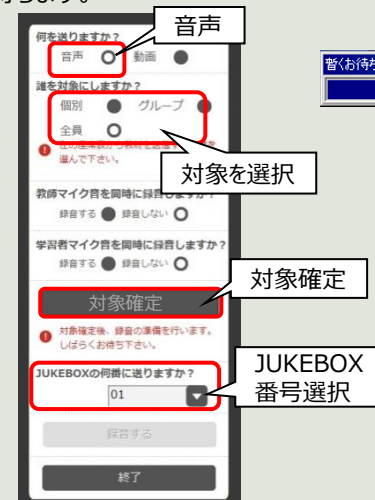
① 学習者に送りたい音声教材を機器にセットします。【一括設定】で送りたい音声ソースを選択します。【AVリモコン】を使用し、頭出しをしておきます。(一時停止)



②【送る・集める】を押し、【学習者PCのソフトレコーダーに教材を送る】を選択します。



③ナビウィンドウに従い、【音声】を選択し、【対象】を選択します。【対象確定】を押します。コンソールにメッセージが表示されます。消えるまで操作を待ちます。



④【JUKEBOX】の番号を1～10の中から選択します。

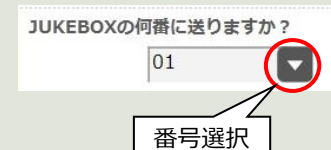
⑤【教材を送る】を押し、続いてAVリモコンで音声教材を再生する(⇒対象に選択された学習者のソフトレコーダーに音声教材が録音されます)



⑥音声教材の再生を停止し、ナビウィンドウの【停止】を押します。コンソールにメッセージが表示されます。消えるまで操作を待ちます。



⑦次の教材を続けて録音する場合は⑤の手順で2～10を選んで録音していく。



※学習者のソフトレコーダー画面では、JUKEBOXからBANK1～BANK10を選び学習するようになっています。ここで選択した番号と同番号のJUKEBOXに教材が送出されます。

⑧全ての録音を終える時は【終了】ボタンを押し、ウィンドウを閉じます。(⇒選択されていた学習者のロック状態が解除され、操作が可能になります。)



機能

学習者が録音した音声を
一斉に回収する



操作

①学習者は自分の音声を録音し、回収する音声を表示させておきます。



②【送る・集める】の【ソフトレコーダーの音声を回収する】を押す。



③コンソール画面中央に【回収設定中】のメッセージが表示され、【音声回収されました】に変わります。

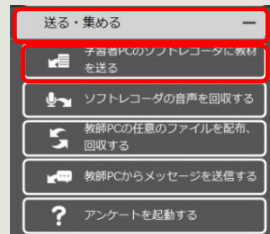


④サーバーの【音声回収】フォルダに音声回収されます。

学習者PC



※ソフトレコーダーについての詳細は別途マニュアルを参照して下さい。



※回収は全員対象です。

※学習者が録音中や一時停止中、録音をしていない場合は、その学習者の音声は回収できません。

学習者から回収した音声を
すぐに聞く

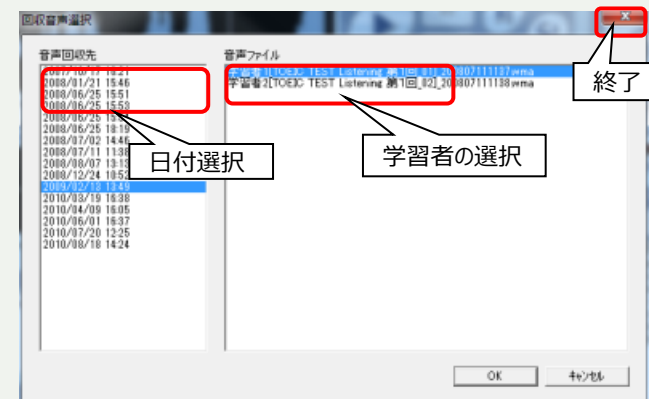
①教師PCでソフトレコーダーの【Listening & Speaking】を起動し、【回収音声】ボタンを押します。



②日付のフォルダを選択します。ウィンドウ右側の欄に、出席パネルで入力した学習者の名前が表示されているのを確認します。



③任意の学習者を選択。【OK】をクリックし、音声を再生して聞く。ソフトレコーダー終了時は右上の終了をクリックする。



機能

学習者へメッセージを送る



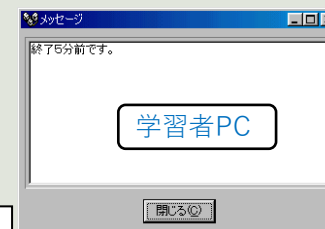
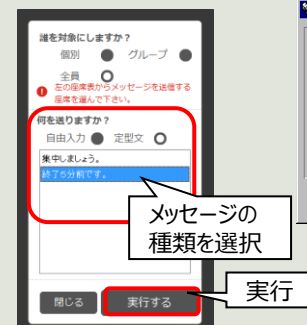
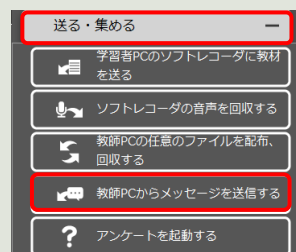
操作

①【送る・集める】を押し、【教師PCからメッセージを送信する】を選択します。

②ナビウィンドウに従い、対象者を選択します。

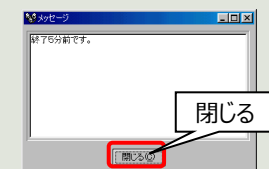
③【何を送りますか？】から【定型文】あるいは【自由入力】のどちらかを選択し、【実行】ボタンを押します。

④メッセージの種類を学習者PC画面に下記のようなメッセージウィンドウが表示されます。



終了方法

学習者側で【閉じる】を押す、あるいはメッセージが消えるのを待ちます。



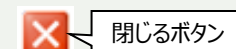
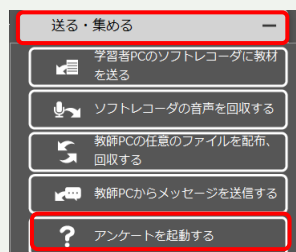
学習者からアンケートをとる

①【送る・集める】を押し、【アンケートを起動する】を選択します。

②ボタンを押すと教師用アンケート画面の表示・非表示が切り替わります。教師PC上に下図のような教師用アンケート画面が表示されます。

③教師用アンケート画面に問題と選択肢を入力し、【開始】ボタンを押します。学習者が回答後、【締切】ボタンを押します。

教師用アンケート画面右上の✖ボタンあるいは【アンケートを起動する】ボタンを押します。



？ アンケートを起動する

【アンケート】の取り方について

- ①アンケートタイトルを入力する
- ②<1~5>の選択肢番号の横に選択肢を入力する。
- ③【開始】をクリックする
- ④学習者PC上にアンケート回答画面が表示されます



- ⑤学習者は番号をクリックしアンケートに回答する
- ⑥教師PC上にアンケート結果がリアルタイムで表示される
- ⑦【締切】ボタンでアンケートを閉め切ります。
- ⑧【公開】ボタンで学習者にアンケート果を公開する。



機能

学習者へ教材ファイルを配布する



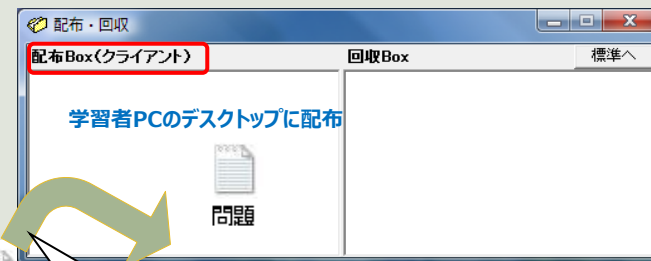
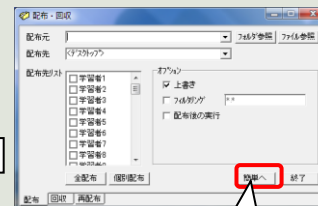
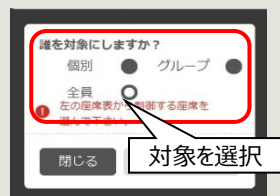
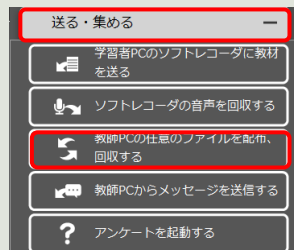
操作

①【送る・集める】を押し、【教師PCに任意のファイルを配布・回収する】を選択します。

②ナビウィンドウに従い、対象者を選択します。

③教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。【簡単へ】ボタンをクリックします。デスクトップに【配布・回収BOX】が表示されます。

④【配布BOX】に配布したい教材ファイルをドラッグ＆ドロップします。ドラッグ＆ドロップされたファイルが学習者のデスクトップに配布されます。



簡単へ

教材ファイル

ドラッグ＆ドロップ

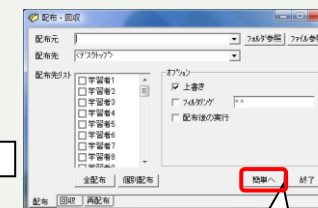
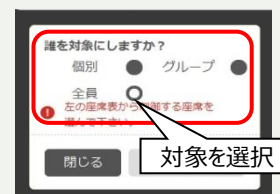
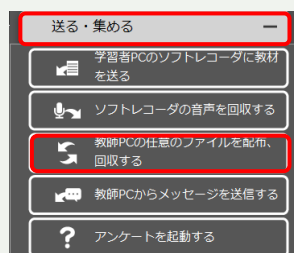
配布した教材ファイルを学習者から回収する

①【送る・集める】を押し、【教師PCに任意のファイルを配布・回収する】を選択します。

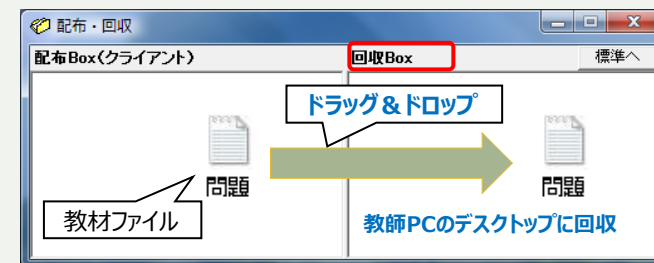
②ナビウィンドウに従い、対象者を選択します。

③教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。【簡単へ】ボタンをクリックします。デスクトップに【配布・回収BOX】が表示されます。

④【回収BOX】に回収したい教材ファイルをドラッグ＆ドロップします。ドラッグ＆ドロップされたファイルが教師PCのデスクトップに自動作成された【回収フォルダ】に回収されます。



簡単へ

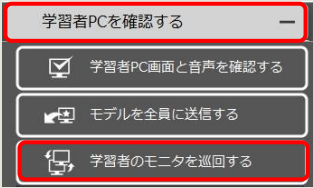
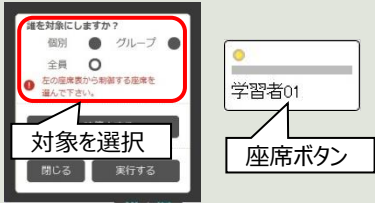
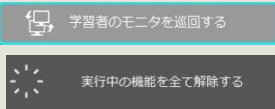
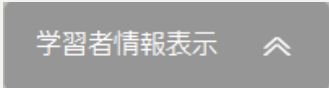
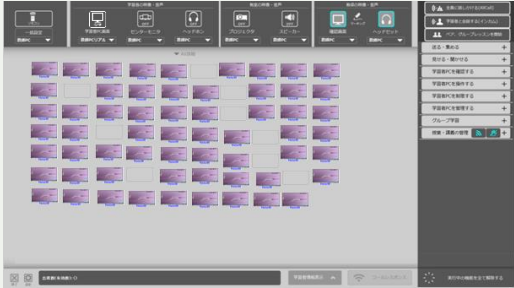
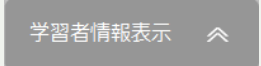
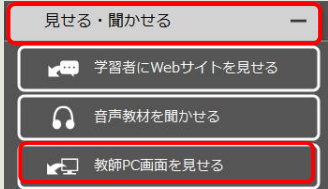
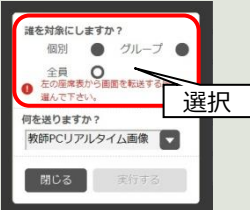
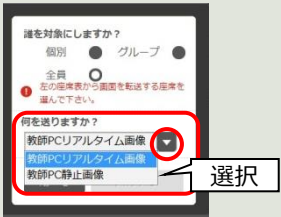
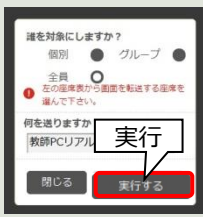
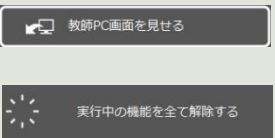


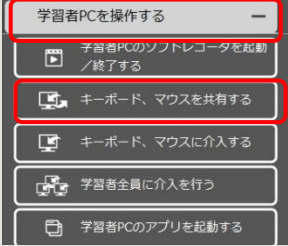
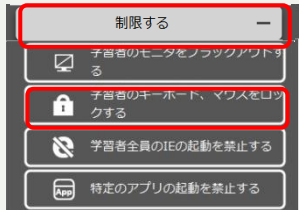
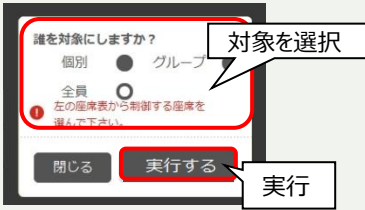
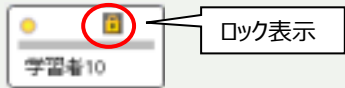
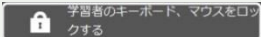
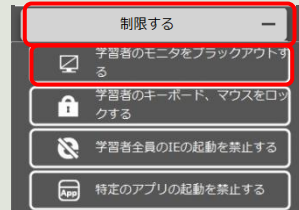
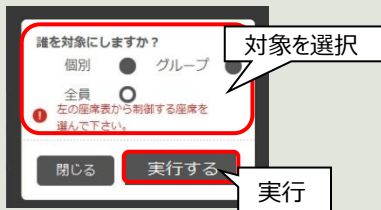
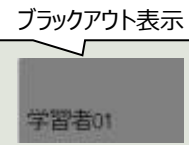
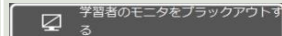
ドラッグ＆ドロップ

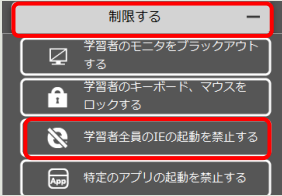
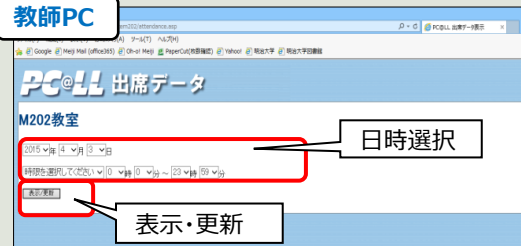
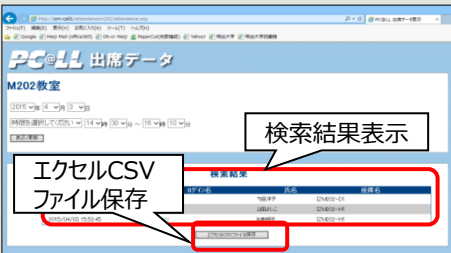
教材ファイル

教師PCのデスクトップに回収

※この時、学習者側にある回収対象ファイルは 自動で削除されます。

機能	操作	終了方法
学習者PC画面を巡回でモニタリングする 	①【学習者PCを確認する】を押し、【学習者のモニタを巡回する】を選択します。  ②ナビウィンドウに従い、対象者を選択します。巡回モニタをスタートしたい【学習者座席ボタン】を押します。  ③【実行する】を押すとその選択した学習者から巡回がスタートし、プレビューモニターに学習者PCがモニタリングされます。巡回モニタ中の座席ボタンも順番に緑色に変わっていきます。巡回を一時停止したい場合は【一時停止する】を押します。 	【学習者のモニタを巡回する】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。 
学習者PC画面を一覧表示する 	① コンソール画面右下にある【学習者情報表示】ボタンを押します。  ② コンソール画面が【学習者座席ボタン表示】から学習者PC画面の一覧表示に変更されます。  ※通常表示は、レイアウト表示です。【設定】→【一般設定】→【分割画面数】を押すことにより、4・16・25・49・64分割まで表示設定が可能です。 ※【学習者情報表示】モード時、任意の学生をモニタリングしたい時は学習者のモニタ表示をダブルクリックします。プレビューモニターで学習者のPC画像を確認できます。	【学習者情報表示】ボタンを押すと、通常のコンソール画面に戻ります。 
教師PC画面を学習者に见せる 	①【見せる・聞かせる】を押し、【教師PC画面を見せる】を選択します。  ②ナビウィンドウに従い、対象者を選択します。  ③▼マークを押し、【教師PCリアルタイム画像】あるいは【教師PC静止画像】を選択します。  ④【実行】ボタンを押します。学習者PCに教師PC画像が送られます。  【教師PCリアルタイム画像】➡教師PCで操作している様子をそのままリアルタイムで送信。 【教師PC静止画像】➡教師PCで操作し、【教師PC静止画像】を選択し瞬間にキャプチャした静止画像を送信。	【教師PC画面を見せる】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。 

機能	操作	終了方法
学習者PCを教員側から操作する 	①【操作する】を押し、【キーボード・マウスを共有する】を選択します。  ②ナビウィンドウに従い、対象者を【学習者座席ボタン】から選択します。教師PCのキーボードとマウスを操作するとモニタしている学習者PCのキーボードとマウスが動作します。   ※【共有機能】を実行している間は、教師PCの操作はできません。 ※【共有機能】を実行していても学習者PCのキーボード、マウスからの操作は可能です。 ※【キーボード・マウスに介入する】では学習者は操作できず、教師のみの操作になります。)	教師PCのキーボードの【Ctrl】+【Alt】キーを押して解除します。   教師PCキーボード
学習者PCのキーボード・マウスをロックする	①【制限する】を押し、【キーボード・マウスをロックする】を選択します。  ② ナビウィンドウに従い、対象者を選択し、【実行する】を押します。  ③キーボード・マウスがロックされた学習者座席ボタンにロックマークが表示されます。  ※学習者のPC画面表示されたままロックされます。 ※【遅刻者対応】によりロック機能実行後にログインした学習者PCも機能は反映されます。	【学習者のキーボード、マウスをロックする】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。  
学習者PCの画面をブラックにし、キーボード・マウス、全てロックする	①【制限する】を押し、【学習者のモニタをブラックアウトする】を選択します。  ② ナビウィンドウに従い、対象者を選択し、【実行する】を押します。  ② 学習者PC画面はブラックになり、キーボード・マウスがロック状態になります。  	【学習者のモニタをブラックアウトする】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。  

機能	操作	終了方法
学習者PCのInternetExplorerを起動禁止にする  授業支援	①【制限する】を押し、【学習者全員のIEの起動を禁止】を選択します。 ②学習者側で起動中の【Internet Explorer】が強制的に終了します。IEをロック後は学習者側でIEを起動できなくなります。 ※本機能に対象選択はありません。PC@LLにログインされている全学習者が対象になります。 ※IE7以降で複数のタブを開いている場合、IEの設定によっては【IE終了確認】メッセージが表示されます。この場合、IEは強制終了されません。 ※【遅刻者対応】により、IE起動禁止機能実行後に起動してきた学習者PCも機能が反映されます。   学習者PC	【学習者全員のIEの起動を禁止する】ボタンを押す。 ※この機能は【実行中の機能を全て解除する】ボタンでは解除できません。
学習者の出席を確認する	①学習者がPCを起動、ログイン後、【学習者表示パネル】が表示します。 ②学習者は【学習者表示パネル】の【出席】を押し、出席処理をします。 ③学習者はコンソール上で名前表示されます。 ※学習者側の操作になります   ※【学習者パネル】はコンソールが起動していないと表示されません。 ※【出席処理】の詳細は、【学習者表示パネル】ページを参照して下さい。 	
学習者の出席履歴を確認する  授業支援	①【授業・講義の管理】の【出席表を表示する】を選択します。 ②教師PC上に【出席データ表示】ウィンドウが表示されます。出席を参照したい日時を選択し【表示/更新】ボタンを押すと出席データが表示されます。 ③出席データを出力したい場合は、【エクセルCSVファイル保存】を押します。ダウンロードのダイアログが表示され、【保存】ボタンを押し、任意の保存先を選択します。任意の保存先に出席データが保存されます。 ※【出席情報】をクリアしたい場合は【出席情報をクリアする】ボタンを押します。   教師PC 日時選択 表示・更新  検索結果表示 Excel CSVファイル保存	※【出席情報】をクリアしたい場合は【出席情報をクリアする】ボタンを押します。

機能

学習者のグループ分けを行う

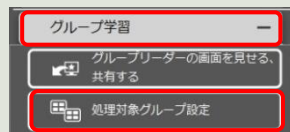


グループ学習を行う

※本機能を実行すると同時にグループメンバー間での会話もできるようになります。

操作

①【グループ学習】を押し、【処理対象グループ設定】を選択します。

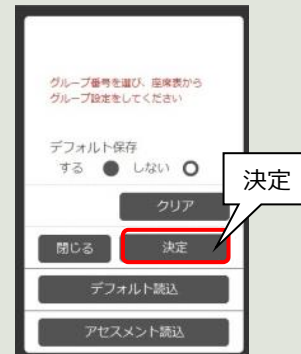


※【処理対象グループ】に人数制限はありません。

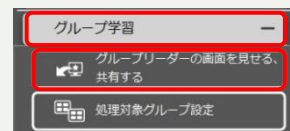
② ナビウィンドウに従い、コンソール画面上部の【グループ選択】ボタンから設定したいグループ番号のボタンを押します。



③ 選択したグループに所属させたい学習者の座席ボタンを押します。続けて同様の操作で全ての学習者のグループ設定を行います。【決定】ボタンを押すとグループ情報が保存されます。



①【グループ学習】を押し、【グループリーダーの画面を見せる・共有する】を選択します。



②【学習者側の操作】グループ内の任意の学習者が学習者パネル上の【リーダー】ボタンを押します。

■ 学生側の操作



③ リーダーPCのデスクトップ画面が他グループメンバーのPCを送信され他のメンバーはリーダーのキーボードとマウスをリモートで操作できます。

④ リーダーPCを利用しながらグループメンバーでグループ学習を行います。

【グループワークのイメージ図】

リーダーがオープンした課題ファイルにグループメンバーは自由に書き込みを開始する。



終了方法

【グループリーダーの画面を見せる・共有する】ボタンを押すか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンを押す。



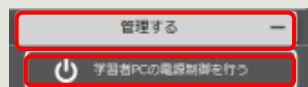
機能

学習者PCの電源ON・OFFを行う

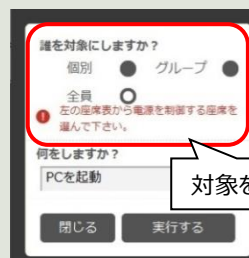


操作

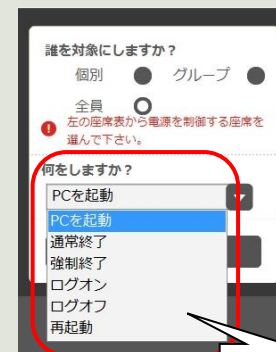
① 【管理する】を押し、
【学習者PCの電源制御を行う】を選択します。



② ナビウィンドウに従い、電源
制御をリモートコントロールした
対象を選択します。



③対象を選択後、電源制御のプル
ダウンメニューから実行したいメニュー
を選択します。



④【実行する】を押す。

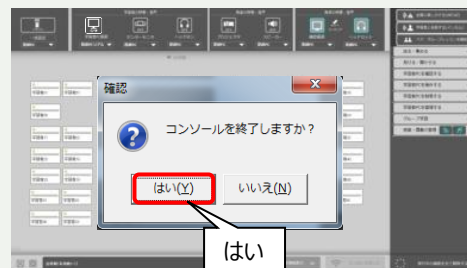


コンソールを終了する

① 【設定・終了】メニューから、
【終了】を押します。



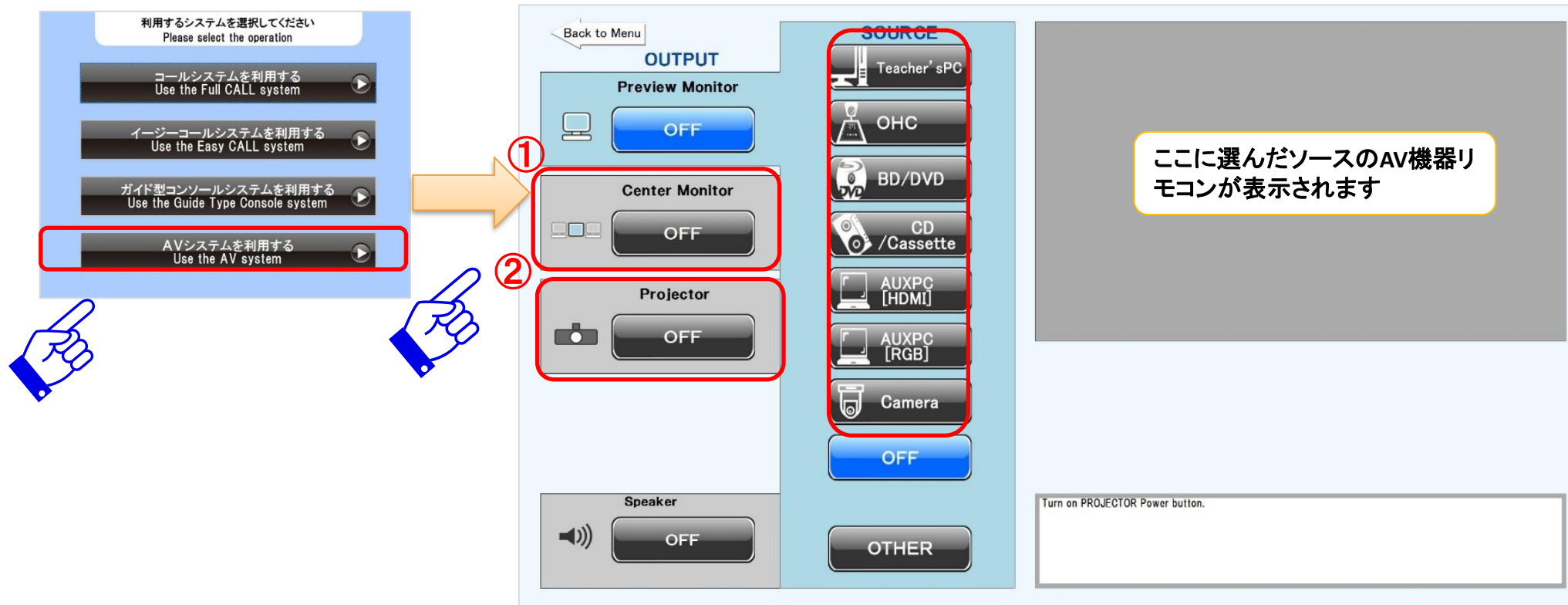
②コンソール上に確認ウィンドウが表示されます。
【はい】を選択し、コンソールを終了します。



※コンソールPCを終了するには通常のWindowsの終了方法を行って下さい。

○よくある質問
プロジェクタ・中間モニタへの投影方法

■コンソールでAVシステム利用を選択した場合

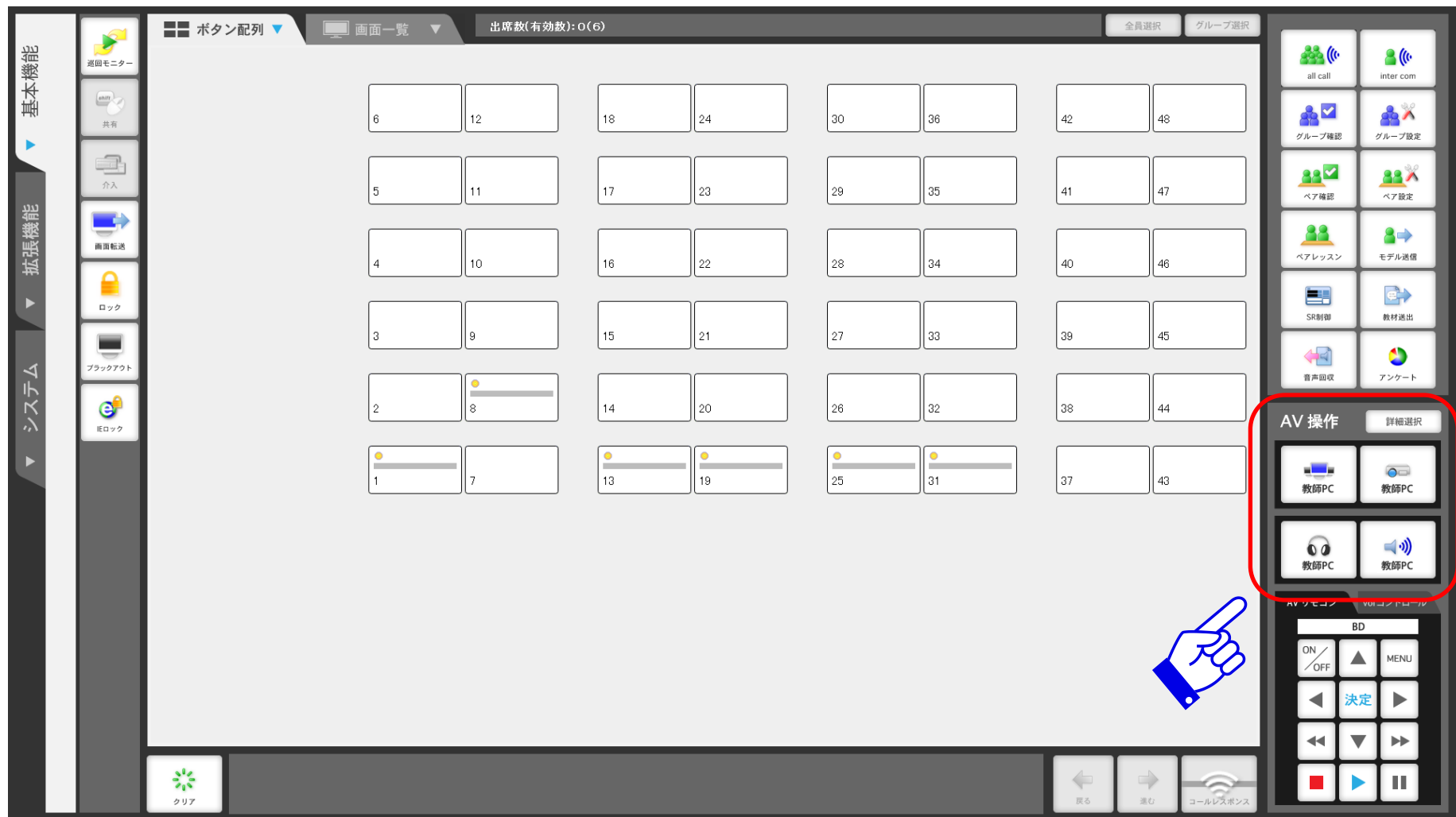


①CenterMonitorボタンをタッチして投影したいSOURCEを選択すると中間モニタへ投影されます。

②Projectorボタンをタッチして投影したいSOURCEを選択するとプロジェクタへ投影されます。

※持ち込みPCを投影したい場合は、AVパネル上に接続したHDMI又はRGB入力に合わせてSOURCEを選択ください。

■ コンソールでコールシステム利用を選択した場合



■ AV操作のボタンからそれぞれ投影させたい機器を選択します。



⇒ プロジェクタ



⇒ 中間モニタ

■コンソールでコールシステム利用を選択した場合

機能	操作	終了方法
教師PCの画像をプロジェクタに投影する場合	①プロジェクターの電源を入れておきます。 ②コンソールのAV操作パネルのソースが[教師PC]になっている事を確認します。 ③[プロジェクタ]ボタンを押します ④プロジェクターに教師PC画像が表示されます 白: 出力OFF 青: 出力ON ※音も流す場合はヘッドセット・スピーカーボタンも押してください	青くなっている[プロジェクタ]ボタンを押して解除します
持ち込みPC・書画カメラ等の画像をプロジェクターに投影する場合	①[詳細選択]ボタンを押します ②ソースを選択し[戻る]ボタンを押します ③[プロジェクタ]ボタンを押します ④[プロジェクタ]ボタンを押します ※音も流す場合はヘッドセット・スピーカーボタンも押してください	青くなっている[プロジェクタ]ボタンを押して解除します

■ コンソールでガイド型コールシステム利用を選択した場合

1 【AV機器 操作エリア】

学習者の映像・音声

教室の映像・音声

教卓の映像・音声

リモコン
一括設定
教師PC

学習者PC画面
OFF
リアルタイム
教師PC

センターモニタ
OFF
教師PC

ヘッドホン
OFF
教師PC

プロジェクタ
OFF
教師PC

スピーカー
OFF
教師PC

確認画面
マーキング
教師PC

ヘッドセット
教師PC

▼ AV詳細

Student1 Student11 Student21 Student31 Student41 Student51

Student4 Student14 Student24 Student34 Student44 Student54

Student5 Student15 Student25 Student35 Student45 Student55

Student6 Student16 Student26 Student36 Student46 Student56

Student7 Student17 Student27 Student37 Student47 Student57

Student8 Student18 Student28 Student38 Student48 Student58

Student9 Student19 Student29 Student39 Student49 Student59

Student10 Student20 Student30 Student40 Student50 Student60

送る・集める +

見せる・聞かせる +

学習者PCを確認する +

操作する +

制限する +

管理する +

グループ学習 +

授業・講義の管理 +

終了 設定

出席数(有効数): 0

学習者情報表示

無線 コールレスポンス

解除 実行中の機能を全て解除する

■ 画面上部のAV機器操作エリアからそれぞれ投影させたい機器を選択します。

■ コンソールでガイド型コールシステム利用を選択した場合

1

AV機器操作エリア



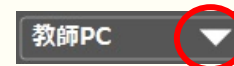
■ 中間モニタ・プロジェクタへ投影する場合

① センターモニタまたはプロジェクタのアイコンをクリックするとブルーに変わります。



② もう一度アイコンをクリックすると OFFになります。

③ 映像ソースを変更したい場合は、アイコン下のソース選択ボックス内のマークをクリックします。



④ 持ち込みPCを投影する場合は外部入力HDMIを選択ください。

